

2024(R6)年度 広島市現代美術館年報

ANNUAL REPORT

2024

2024(R6)年度
広島市現代美術館年報



目次

Contents

特別展 Special Exhibitions	2024 (R6) 年度	遠距離現在 Universal / Remote	03
		ティンティン・ウリア:共通するものごと	07
		原田裕規:ホーム・ポート	09
		Perfume COSTUME MUSEUM	12

コレクション展 Collection Exhibitions	2024 (R6) 年度	2024-Iハイライト+リレーションズ [ゲストアーティスト:手嶋勇氣]	18
		2024-IIハイライト+リレーションズ [ゲストアーティスト:中西紗和]	22
		2024-IIIハイライト+リレーションズ [ゲストアーティスト:西島大介]	27

オープン・プログラム Open Programs	2024 (R6) 年度	《≡会田誠～無気力大陸～》上映	32
		山村浩二アニメーション+《山村浩二作品集》上映	32
		ミーティングポイント—出会う、知る、交換する—	33
		「ヒロシマ・アビールズ」ポスター全展示	35
		西島大介 ショートムービー特集	37
		旧テレフォンブース 展示	37

コミュニケーション・ プログラム Communication Programs	2024 (R6) 年度	アートナビ・ツアー	39
		対話しながらみる、いどばた鑑賞会	39
		ベビーカー アートナビ・ツアー	39
		モカモカワークショップ	40
		もかけん(もっとかわっていくための検討会議)	40

その他 Others	2024 (R6) 年度	「339」POPUP企画	43
		その他のパブリシティ	45
		収集作品目録／図版	46
		貸出記録	58
		博物館実習	58
		美術館利用促進事業	59
職員名簿	59		

特別展

Special Exhibitions

遠距離現在 Universal/Remote

Universal/Remote



会期 2024年6月29日(土)～9月1日(日)
会場 B展示室、地下1階ミュージアムスタジオ
観覧料 一般1,300円(1,000円)、大学生950円(750円)、高校生・65歳以上650円(500円)
※()内は前売り及び30名以上の団体料金
主催 広島市現代美術館
企画協力 国立新美術館
後援 広島県、広島市教育委員会、中国新聞社、朝日新聞広島総局、毎日新聞広島支局、読売新聞広島総局、NHK広島放送局、中国放送、テレビ新広島、広島テレビ、広島ホームテレビ、広島エフエム放送、尾道エフエム放送
担当 清水和音、笹野摩耶
入場者数 6,244人
内容 コロナ禍をきっかけに顧みられるようになった社会の在り方、その中の人々の暮らしや労働などの様々な事象について、現代美術を通して考察することを試みた展覧会。資本と情報が世界規模で移動する今世紀の状況をふまえて、パンデミック以前に制作された作品を軸に展覧会を構成することで、ポストコロナの世界を見据えながら、ソーシャル・ディスタンスによる緊張感、医療不足、より不安定となった雇用など、社会／経済全般における諸問題を捉えなおすことを試みた。展覧会は「Pan- の規模で拡大し続ける社会」、「リモート化する個人」の二部構成とし、このような社会的条件が形成されてきた今世紀の社会の在り方に取り組み8名と1組のアーティストによる作品を紹介した。これらのテーマは、グローバル資本主義やデジタル化社会といった、現代アートにおける従来のテーマを新たに捉えなおす視点としても設定された。

関連プログラム

- 6月29日(土) 「オープニングトーク」井上大介、地主麻衣子、木浦奈津子、伊志慧(国立新美術館 特定研究員/本展企画者) [61人]
- 7月13日(土) 「福永信さんと鑑賞ガイドブックをつくる 第1回」福永信 [12人]
- 7月21日(日) 「学芸員によるギャラリートーク」清水和音 [26人]
- 8月3日(土) 「福永信さんと鑑賞ガイドブックをつくる 第2回」福永信 [13人]
- 8月10日(土) 「学芸員によるギャラリートーク」清水和音 [38人]
※[]内は参加者数

カタログ 『遠距離現在 Universal / Remote』
発行:国立新美術館
発行年:2023年
総頁数:141ページ

パブリシティ

- 新聞
「コロナ後の社会 捉え直す」、読売新聞、6月30日、27面
「プレミアム+1 / パンデミックが作った距離」、産経新聞、8月9日、2面、正木利和
- 定期刊行物(雑誌)
「展覧会ダイジェスト106」、美術の窓、12月号、104ページ
「おすすめ美術展ガイド」、美術展びあ2024、95ページ
「6月のエンタメnavi」、タウン情報ひろしま、6月号、75ページ
「ART」、Wink、7月号、71ページ
- 定期刊行物(その他)
「目次」、博物館研究、6月号、2ページ
「特約店じょうほう」、ドゥプレタイムス、6月号、43ページ
「読者プレゼント」、Workin広島版、6/10号、43ページ
「今月の表紙」、広島交響楽団第442回定期演奏会、6/14号、表紙・18ページ
「お出掛けTOPICS」、リビングひろしま、6/28号、12ページ
「読者プレゼント」、CHIC、夏号、48ページ
「情報掲示板、読者プレゼント」、ウエンディ広島、7月号、16・22ページ
「特約店じょうほう」、ドゥプレタイムス、7月号、7ページ
「施設のイベント」、ひろしま市民と市政、7/1号、6ページ
「美術を通し社会の考察」、経済レポート、7/2号、11ページ
「子どもと美術館」、マンマール、7/5号、8ページ
「今月の表紙」、広島交響楽団第443回定期演奏会、7/13号、表紙・18ページ
「広島県エリア」「美術館イベント情報」、せとうちアート通信、vol.9、8・14ページ

- 「文化イベント」、to you、8月号、4ページ
「特約店じょうほう」、ドゥプレタイムス、8月号、6ページ
「情報掲示板」、ウエンディ広島、8月号、15ページ
「Event Guide」、Workin広島版、8/5号、35ページ

- テレビ
「ニュース」、中国放送、6月29日
「鈴木福のミミヨリ!ひろしま」、中国放送、7月7日
「ちゅピCOM SPORTS&LIFE」、ちゅピCOM、7月22日ほか3回

- ラジオ
「You Gotta Radio」、FMおのみち、7月10日、笹野摩耶

- WEB
「EXHIBITIONS」、美術手帖、6月29日
「EXHIBITION」、ART AgendA、6月29日
「イベント」、ひろしま公式観光サイト「Dive!Hiroshima」、6月29日
「美術館・博物館」、MIRAI、6月29日
「【広島 蔦屋書店】遠距離現在 Universal / Remote」、広島T-SITE、7月3日、広島 蔦屋書店 アートコンシェルジュ 犬丸

- 外部連携
「あなたとわたしの距離」をテーマにフェア開催、広島 蔦屋書店、7月3日～9月1日

出品目録

No.	作家名/Artist	作品名/Title	制作年	技法・材質	寸法 (cm)・上映時間
1	井田大介 Daisuke Ida	誰が為に鐘は鳴る <i>For Whom the Bell Tolls?</i>	2021	ビデオ	ループ再生
2	井田大介 Daisuke Ida	イカロス <i>IKAROS</i>	2021	ビデオ	6'8"
3	井田大介 Daisuke Ida	Fever <i>Fever</i>	2021	ビデオ、ブロンズ	80×35×35 13'58"
4	徐冰(シュビン) Xu Bing	とんぼの眼 <i>Dragonfly Eyes</i>	2017	ビデオ、ライブ配信サイトで公開されている監視カメラ映像からの抜き出し	81'
5	トレヴァー・パグレン Trevor Paglen	米国家安全保障局 (NSA) が盗聴している光ファイバーケーブルの上陸地点、米国カリフォルニア州ポイントアリーナ <i>NSA-Tapped Fiber Optic Cable Landing Site, Point Arena, California, United States</i>	2014	Cプリント	121.9×152.4
6	トレヴァー・パグレン Trevor Paglen	米国家安全保障局 (NSA) が盗聴している光ファイバーケーブルの上陸地点、米国ニューヨーク州マスティックビーチ <i>NSA-Tapped Fiber Optic Cable Landing Site, Mastic Beach, New York, United States</i>	2015	Cプリント	121.9×152.4
7	トレヴァー・パグレン Trevor Paglen	米国家安全保障局 (NSA) が盗聴している光ファイバーケーブルの上陸地点、米国カリフォルニア州モロ湾 <i>NSA-Tapped Fiber Optic Cable Landing Site, Morro Bay, California, United States</i>	2015	ビグメントプリント	121.9×152.4
8	トレヴァー・パグレン Trevor Paglen	コロンブスⅢ、米国家安全保障局 (NSA) と英政府通信本部 (GCHQ) が盗聴している海底ケーブル、大西洋 <i>Columbus III, NSA/GCHQ-Tapped Undersea Cable, Atlantic Ocean</i>	2015	Cプリント	121.9×152.4
9	トレヴァー・パグレン Trevor Paglen	ミッドアトランティッククロッシング (MAC)、米国家安全保障局 (NSA) と英政府通信本部 (GCHQ) が盗聴している海底ケーブル、大西洋 <i>Mid-Atlantic Crossing (MAC), NSA/GCHQ-Tapped Undersea Cable, Atlantic Ocean</i>	2015	Cプリント	121.9×152.4
10	トレヴァー・パグレン Trevor Paglen	米国家安全保障局 (NSA) が盗聴している海底ケーブル、北太平洋 <i>NSA-Tapped Undersea Cables, North Pacific Ocean</i>	2016	Cプリント	121.9×182.9
11	トレヴァー・パグレン Trevor Paglen	日米間ケーブルシステム、米国家安全保障局 (NSA) と英政府通信本部 (GCHQ) が盗聴している海底ケーブル、太平洋 <i>Japan-US Cable System, NSA/GCHQ-Tapped Undersea Cable, Pacific Ocean</i>	2016	Cプリント	121.9×152.4
12	トレヴァー・パグレン Trevor Paglen	彗星 (コーパス:前兆と前触れ)、敵対的に進化した幻覚 <i>Comet (Corpus: Omens and Portents), Adversarially Evolved Hallucination</i>	2017	昇華転写印刷	54.6×68.3
13	トレヴァー・パグレン Trevor Paglen	ハエトリグサ (コーパス:アメリカの捕食者)、敵対的に進化した幻覚 <i>Venus Flytrap (Corpus: American Predators), Adversarially Evolved Hallucination</i>	2017	昇華転写印刷	54.6×68.3
14	トレヴァー・パグレン Trevor Paglen	死の高速道路 (コーパス:第一次スマート戦争後)、敵対的に進化した幻覚 <i>Highway of Death (Corpus: The Aftermath of the First Smart War), Adversarially Evolved Hallucination</i>	2017	昇華転写印刷	81.3×101.6
15	トレヴァー・パグレン Trevor Paglen	男 (コーパス:人間)、敵対的に進化した幻覚 <i>A Man (Corpus: The Humans), Adversarially Evolved Hallucination</i>	2017	昇華転写印刷	121.9×152.4
16	トレヴァー・パグレン Trevor Paglen	ポルノ (コーパス:人間)、敵対的に進化した幻覚 <i>Porn (Corpus: The Humans), Adversarially Evolved Hallucination</i>	2017	昇華転写印刷	121.9×152.4
17	トレヴァー・パグレン Trevor Paglen	虹 (コーパス:前兆と前触れ)、敵対的に進化した幻覚 <i>Rainbow (Corpus: Omens and Portents), Adversarially Evolved Hallucination</i>	2017	昇華転写印刷	54.6×68.3
18	トレヴァー・パグレン Trevor Paglen	吸血鬼 (コーパス:資本主義の怪物)、敵対的に進化した幻覚 <i>Vampire (Corpus: Monsters of Capitalism), Adversarially Evolved Hallucination</i>	2017	昇華転写印刷	152.4×121.9
19	トレヴァー・パグレン Trevor Paglen	影 (コーパス:否定的に存在するもの)、敵対的に進化した幻覚 <i>Shadow (Corpus: Things that Exist Negatively), Adversarially Evolved Hallucination</i>	2017	昇華転写印刷	152.4×121.9
20	トレヴァー・パグレン Trevor Paglen	軍人のいない戦争 (コーパス:目の機械)、敵対的に進化した幻覚 <i>A War Without Soldiers (Corpus: Eye Machine), Adversarially Evolved Hallucination</i>	2017	昇華転写印刷	81.3×101.6
21	トレヴァー・パグレン Trevor Paglen	蛸 (コーパス:フロムザデプス)、敵対的に進化した幻覚 <i>Octopus (Corpus: From the Depths), Adversarially Evolved Hallucination</i>	2017	昇華転写印刷	54.6×68.3
22	トレヴァー・パグレン Trevor Paglen	天使 (コーパス:天国の領域)、敵対的に進化した幻覚 <i>Angel (Corpus: Spheres of Heaven), Adversarially Evolved Hallucination</i>	2017	昇華転写印刷	68.3×54.6
23	トレヴァー・パグレン Trevor Paglen	トルネード (コーパス:地獄の領域)、敵対的に進化した幻覚 <i>Tornado (Corpus: Spheres of Hell), Adversarially Evolved Hallucination</i>	2017	昇華転写印刷	152.4×121.9
24	トレヴァー・パグレン Trevor Paglen	青白く膨らんだ顔 (コーパス:夢判断)、敵対的に進化した幻覚 <i>A Pale and Puffy Face (Corpus: The Interpretation of Dreams), Adversarially Evolved Hallucination</i>	2018	昇華転写印刷	101.6×81.3
25	ジョルジ・ガゴ・ガゴシツェ ヒト・シュタイエル ミロス・トラキロヴィチ Georgi Gago Gagoshidze Hito Steyerl Miloš Traklović	ミッション完了:ベランシェジ <i>Mission Accomplished: Belanciege</i>	2019	3チャンネルHDビデオ (カラー、サウンド)、展示空間	47'23"
26	地主麻衣子 Maiko Jimushi	遠いデュエット <i>A Distant Duet</i>	2016	HDビデオ	40'

出品目録

No.	作家名/Artist	作品名/Title	制作年	技法・材質	寸法 (cm)・上映時間
27	ティナ・エングホフ Tina Enghoff	心当たりあるご親族へ——男性、1954年生まれ、自宅にて死去、2003年6月1日発見 <i>Possible Relatives / Man born 1954, deceased, found in home June 1, 2003</i>	2004	アーカイバルビグメントプリント	150×200×4
28	ティナ・エングホフ Tina Enghoff	心当たりあるご親族へ——女性、1923年生まれ、自宅にて死去、2002年9月23日発見 <i>Possible Relatives / Woman born 1923, deceased, found in home September 23, 2002</i>	2004	アーカイバルビグメントプリント	100×80×3
29	ティナ・エングホフ Tina Enghoff	心当たりあるご親族へ——男性、1932年生まれ、自宅にて死去、2003年4月24日発見 <i>Possible Relatives / Man born 1932, deceased, found in home April 24, 2003</i>	2004	アーカイバルビグメントプリント	120×160×5
30	ティナ・エングホフ Tina Enghoff	心当たりあるご親族へ——男性、1946年生まれ、自動車事故で2002年11月8日に死去 <i>Possible Relatives / Man born 1946, deceased in car accident November 8, 2002</i>	2004	アーカイバルビグメントプリント	160×120×5
31	ティナ・エングホフ Tina Enghoff	心当たりあるご親族へ——男性、1923年生まれ、自宅にて死去、2003年6月12日発見 <i>Possible Relatives / Man born 1923, deceased, found in home June 12, 2003</i>	2004	アーカイバルビグメントプリント	150×200×4
32	ティナ・エングホフ Tina Enghoff	心当たりあるご親族へ——男性、1953年生まれ、アマー島病院にて2002年12月13日に死去 <i>Possible Relatives / Man born 1953, deceased at Amager hospital December 13, 2002</i>	2004	アーカイバルビグメントプリント	160×120×5
33	ティナ・エングホフ Tina Enghoff	心当たりあるご親族へ——男性、1946年生まれ、自宅にて死去、2003年3月17日発見 <i>Possible Relatives / Man born 1946, deceased, found in home March 17, 2003</i>	2004	アーカイバルビグメントプリント	80×100×3
34	ティナ・エングホフ Tina Enghoff	心当たりあるご親族へ——男性、1935年生まれ、自宅にて死去、2003年3月2日発見 <i>Possible Relatives / Man born 1935, deceased, found in home March 2, 2003</i>	2004	アーカイバルビグメントプリント	160×120×5
35	ティナ・エングホフ Tina Enghoff	心当たりあるご親族へ——男性、1941年生まれ、ヴィオワ病院にて2002年7月26日に死去 <i>Possible Relatives / Man born 1941, deceased, Hvidovre hospital July 26, 2002</i>	2004	アーカイバルビグメントプリント	100×80×3
36	ティナ・エングホフ Tina Enghoff	心当たりあるご親族へ——男性、1946年生まれ、自動車事故で2002年11月8日に死去 <i>Possible Relatives / Man born 1946, deceased in car accident November 8, 2002</i>	2004	アーカイバルビグメントプリント	80×100×3
37	ティナ・エングホフ Tina Enghoff	心当たりあるご親族へ——男性、1954年生まれ、自宅にて死去、2003年2月14日発見 <i>Possible Relatives / Man born 1954, deceased, found in home February 14, 2003</i>	2004	アーカイバルビグメントプリント	120×160×5
38	ティナ・エングホフ Tina Enghoff	心当たりあるご親族へ——女性、1936年生まれ、ビスベジャー病院にて2002年9月19日に死去 <i>Possible Relatives / Woman born 1936, deceased, Bispebjerg hospital September 19, 2002</i>	2004	アーカイバルビグメントプリント	80×100×3
39	ティナ・エングホフ Tina Enghoff	心当たりあるご親族へ——女性、1943年生まれ、ビスベジャー病院にて2002年8月1日に死去 <i>Possible Relatives / Woman born 1943, deceased, Bispebjerg hospital August 1, 2002</i>	2004	アーカイバルビグメントプリント	100×80×3
40	ティナ・エングホフ Tina Enghoff	心当たりあるご親族へ——男性、1944年生まれ、自宅にて死去、2002年11月18日発見 <i>Possible Relatives / Man born 1944, deceased, found in home November 18, 2002</i>	2004	アーカイバルビグメントプリント	120×160×5
41	ティナ・エングホフ Tina Enghoff	心当たりあるご親族へ——男性、1935年生まれ、自宅にて死去、2002年10月24日発見 <i>Possible Relatives / Man born 1935, deceased, found in home October 24, 2002</i>	2004	アーカイバルビグメントプリント	80×100×3
42	ティナ・エングホフ Tina Enghoff	心当たりあるご親族へ——女性、1957年生まれ、ヴィオワ病院にて2003年2月7日に死去 <i>Possible Relatives / Woman born 1957, deceased, Hvidovre hospital February 7, 2003</i>	2004	アーカイバルビグメントプリント	80×100×3
43	ティナ・エングホフ Tina Enghoff	心当たりあるご親族へ——女性、1923年生まれ、自宅にて死去、2002年9月23日発見 <i>Possible Relatives / Woman born 1923, deceased, found in home September 23, 2002</i>	2004	アーカイバルビグメントプリント	100×80×3
44	ティナ・エングホフ Tina Enghoff	心当たりあるご親族へ——男性、1936年生まれ、ビスベジャー病院にて2002年9月19日に死去 <i>Possible Relatives / Man born 1936, deceased, Bispebjerg hospital September 19, 2002</i>	2004	アーカイバルビグメントプリント	120×160×5
45	ティナ・エングホフ Tina Enghoff	心当たりあるご親族へ——男性、1957年生まれ、自宅にて死去、2002年6月16日発見 <i>Possible Relatives / Man born 1957, deceased, found in home June 16, 2002</i>	2004	アーカイバルビグメントプリント	160×120×5
46	ティナ・エングホフ Tina Enghoff	心当たりあるご親族へ——男性、1964年生まれ、自宅にて死去、2003年7月31日発見 <i>Possible Relatives / Man born 1964, deceased, found in home July 31, 2003</i>	2004	アーカイバルビグメントプリント	120×160×5
47	ティナ・エングホフ Tina Enghoff	心当たりあるご親族へ——女性、1912年生まれ、ビスベジャー病院にて2003年6月25日に死去 <i>Possible Relatives / Woman born 1912, deceased, Bispebjerg hospital June 25, 2003</i>	2004	アーカイバルビグメントプリント	120×160×5
48	ティナ・エングホフ Tina Enghoff	心当たりあるご親族へ——男性、1942年生まれ、自宅にて死去、2003年3月17日発見 <i>Possible Relatives / Man born 1942, deceased, found in home March 17, 2003</i>	2004	アーカイバルビグメントプリント	160×120×5
49	ティナ・エングホフ Tina Enghoff	心当たりあるご親族へ——男性、1922年生まれ、自宅にて死去、2003年5月23日発見 <i>Possible Relatives / Man born 1922, deceased, found in home May 23, 2003</i>	2004	アーカイバルビグメントプリント	80×100×3
50	ティナ・エングホフ Tina Enghoff	心当たりあるご親族へ——男性、1931年生まれ、自宅にて死去、2002年7月19日発見 <i>Possible Relatives / Man born 1931, deceased, found in home July 19, 2002</i>	2004	アーカイバルビグメントプリント	160×120×5
51	ティナ・エングホフ Tina Enghoff	心当たりあるご親族へ——男性、1934年生まれ、自宅にて死去、2002年12月6日発見 <i>Possible Relatives / Man born 1934, deceased, found in home December 6, 2002</i>	2004	アーカイバルビグメントプリント	123×152.9×3.5
52	ティナ・エングホフ Tina Enghoff	心当たりあるご親族へ——男性、1934年生まれ、自宅にて死去、2002年12月6日発見 <i>Possible Relatives / Man born 1934, deceased, found in home December 6, 2002</i>	2004	アーカイバルビグメントプリント	83×103×3.5
53	ティナ・エングホフ Tina Enghoff	心当たりあるご親族へ——男性、1944年生まれ、ヴィオワ病院にて2003年2月18日に死去 <i>Possible Relatives / Man born 1944, deceased, Hvidovre hospital February 18, 2003</i>	2004	アーカイバルビグメントプリント	183×102.8×3.5
54	チャ・ジェミン Jeamin Cha	迷宮とクロマキー <i>Chroma-key and Labyrinth</i>	2013	シングルチャンネルHDビデオ (カラー、サウンド)	15'
55	エヴァン・ロス Evan Roth	あなたが生まれてから <i>Since You Were Born</i>	2023	壁紙	サイズ可変

出品目録

No.	作家名/Artist	作品名/Title	制作年	技法・材質	寸法 (cm)・上映時間
56	木浦奈津子 Natsuko Kiura	みち <i>Road</i>	2014	油彩、キャンバス	31.8×41
57	木浦奈津子 Natsuko Kiura	うみ <i>Sea</i>	2017	油彩、キャンバス	91×116.7
58	木浦奈津子 Natsuko Kiura	うみ <i>Sea</i>	2021	油彩、キャンバス	130.3×194
59	木浦奈津子 Natsuko Kiura	うみ <i>Sea</i>	2021	油彩、キャンバス	65.2×80.3
60	木浦奈津子 Natsuko Kiura	うみ <i>Sea</i>	2021	油彩、キャンバス	72.7×91
61	木浦奈津子 Natsuko Kiura	き <i>Tree</i>	2021	油彩、キャンバス	72.7×60.7
62	木浦奈津子 Natsuko Kiura	こうえん <i>Park</i>	2021	油彩、キャンバス	38×45.5
63	木浦奈津子 Natsuko Kiura	やま <i>Mountain</i>	2021	油彩、キャンバス	38×45.5
64	木浦奈津子 Natsuko Kiura	やま <i>Mountain</i>	2021	油彩、キャンバス	22×27.3
65	木浦奈津子 Natsuko Kiura	うみ <i>Sea</i>	2021	油彩、キャンバス	91×91
66	木浦奈津子 Natsuko Kiura	こうえん <i>Park</i>	2021	油彩、キャンバス	38×45.5
67	木浦奈津子 Natsuko Kiura	よる <i>Night</i>	2021	油彩、キャンバス	38×45.5
68	木浦奈津子 Natsuko Kiura	うみ <i>Sea</i>	2021	油彩、キャンバス	31.8×41
69	木浦奈津子 Natsuko Kiura	うみ <i>Sea</i>	2021	油彩、キャンバス	65.2×91
70	木浦奈津子 Natsuko Kiura	無題 <i>Untitled</i>	2021	油彩、キャンバス	72.7×60.6
71	木浦奈津子 Natsuko Kiura	うみ <i>Sea</i>	2022	油彩、キャンバス	38×45.5
72	木浦奈津子 Natsuko Kiura	こうえん <i>Park</i>	2021	油彩、キャンバス	97×145.5
73	木浦奈津子 Natsuko Kiura	無題 <i>Untitled</i>	2022	油彩、キャンバス	72.7×60.6
74	木浦奈津子 Natsuko Kiura	うみ <i>Sea</i>	2022	油彩、キャンバス	31.8×41
75	木浦奈津子 Natsuko Kiura	無題 <i>Untitled</i>	2022	油彩、キャンバス	41×31.8
76	木浦奈津子 Natsuko Kiura	うみ <i>Sea</i>	2023	油彩、キャンバス	38×45.5
77	木浦奈津子 Natsuko Kiura	こうえん <i>Park</i>	2023	油彩、キャンバス	181.8×259
78	木浦奈津子 Natsuko Kiura	やま <i>Mountain</i>	2023	油彩、キャンバス	91×116.7
79	木浦奈津子 Natsuko Kiura	やま <i>Mountain</i>	2023	油彩、キャンバス	72.7×91
80	木浦奈津子 Natsuko Kiura	うみ <i>Sea</i>	2018	油彩、キャンバス	24.2×33.3
81	木浦奈津子 Natsuko Kiura	やま <i>Mountain</i>	2023	油彩、キャンバス	14×18

※すべて作家蔵

ティンティン・ウリア:共通するものごと

Tintin Wulia: Things-in-Common



関連プログラム

- 9月22日(日) 「レクチャー・パフォーマンス」ティンティン・ウリア[64人]
- 10月5日(土) 「学芸員によるギャラリートーク」角奈緒子[20人]
- 12月8日(日) 「学芸員によるギャラリートーク」角奈緒子[43人]
- 1月5日(日) 「Ingatkah Saat Itu(そのときを覚えていますか)」(2021)ディアリタ合唱団とティンティン・ウリアによる参加型パフォーマンス&ワークショップ」イングリッド・イラ・アトモスカルト(ディアリタ合唱団)、ティンティン・ウリア[28人]

※[]内は参加者数

- 会 期 2024年9月21日(土)～2025年1月5日(日)
- 会 場 展示室B-1、回廊
- 観 覧 料 一般1,100円(850円)、大学生800円(600円)、高校生・65歳以上550円(400円)、中学生以下無料
※()内は前売り及び30名以上の団体料金
- 主 催 広島市現代美術館
- 協 力 Baik Art, Milani Gallery
- 後 援 広島県、広島市教育委員会、中国新聞社、朝日新聞広島総局、毎日新聞広島支局、読売新聞広島総局、中国放送、テレビ新広島、広島テレビ、広島ホームテレビ、広島エフエム放送、尾道エフエム放送
- 助 成 イェーテボリ大学 (THINGSTIGATE、101041284、European Research Council)
- 担 当 角奈緒子
- 入場者数 8,524人

内 容 ティンティン・ウリアは、社会的、政治的、文化的な問題に対する深い洞察と批判的な視点をもったアーティストである。インスタレーションや映像、パフォーマンスなど、他ジャンルからなるウリアの作品は、「芸術」という領域にとどまらず、つねに学際的な視野で、私たちの社会が抱える問題を提示してきた。日本での初個展となる本展では、ウリアがショートフィルム製作者として活動を開始した比較的初期の映像作品から、今回のために制作された新作を含め、近年手がけている多様なインスタレーションまでを紹介した。グローバルゼーションという概念が定着した今日、改めて国境、移動、アイデンティティ、ナショナリズムといった問題に対する意識を、ウリアの作品を通じて高めるだけでなく、異文化間の、あるいは(見知らぬ)他者との対話を促進し、多様な視点や背景をもつ人々との交差の場を提供することで、新たな知識や感情を得る機会となることを目指した。

カタログ 『ティンティン・ウリア:共通するものごと』

発行:広島市現代美術館
発行年:2024年
総頁数:114ページ

パブリシティ

- 新聞
「マイノリティーの苦悩表現」、読売新聞、9月24日、21面
「情報交差点／イベント」、中国新聞、10月18日、12面
「広島市現代美術館 来館500万人」、中国新聞、11月4日、19面、野平慧一
「触れるインドネシアのリアル」、朝日新聞、11月13日、19面、魚住あかり
「世界の複雑さと躍動映す」、日経新聞、12月7日、40面、増田有莉
「歴史の間から普遍の問い」、毎日新聞、12月9日、3面、山田夢留
「人がつくり出す『境界』問う」、中国新聞、12月11日、12面、木原由維
- 定期刊行物(雑誌)
「展覧会情報」、いけ花 龍生、9月号、21ページ
「Just in Time」、DEPARTURES、秋号、93ページ
「美術館・博物館 催し案内」、和風、秋号、74ページ
「10月のエンタメnavi」、タウン情報ひろしま、10月号、80ページ
「今月の展覧会」、ギャラリー、10月号、43ページ
「READ Book & THINK Art」、クルーエル、11月号、159ページ
「今月の展覧会ガイド」、アートコレクターズ、11月号、122ページ
「ART」、くれえばん、11月号、72ページ
「ART」、Wink、11月号、65ページ

- 「展覧会PREVIEW」、美術の窓、12月号、230ページ
「Museum INFORMATION」、クラシズム、冬号、10ページ
「ARTIST INTERVIEW」、美術手帖、1月号、222-237ページ、山本浩貴

- 定期刊行物(その他)
「広島エリア」、せとうちアート通信、vol.9、8ページ
「特約店じょうほう」、ドゥプレタイムス、9月号、4ページ
「お出掛けTOPICS」、リビングひろしま、9/13号、6ページ
「読者プレゼント」、Workin広島版、9/30号、16ページ
「広島県エリア」「美術館イベント情報」、せとうちアート通信、vol.10、8・14ページ
「特約店じょうほう」、ドゥプレタイムス、10月号、8ページ
「情報掲示板」「読者プレゼント」、ウエンディ広島、10月号、14・22ページ
「Event Guide」、Workin広島版、10/14号、32ページ
「特集／平和文化月間」、ひろしま市民と市政、10/15号、4ページ
「特約店じょうほう」、ドゥプレタイムス、11月号、6ページ
平和文化月間、11月号
「情報掲示板」、ウエンディ広島、11月号、14ページ
「文化イベント」、to you、11月号、4ページ
「情報掲示板」、ウエンディ広島、12月号、14ページ

●テレビ
「ちゅピCOM SPORTS&LIFE」、ちゅピCOM、9/17他3回
「イマナマ!」、中国放送、10月8日
「ニュース」、中国放送、11月4日
「鈴木福のミミヨリ!ひろしま」、中国放送、11月10日
「Halo dari Tokyo」、NHK WORLD JAPAN、12月1日

●ラジオ
「You Gotta Radio」、FMおのみち、10月9日、角奈緒子

●WEB
「EXHIBITIONS」、ART AgendA、8月8日
「おすすめ展覧会」、ART iT、8月12日
「イベント」、デザイン情報サイト「JDN」、8月13日
「NEWS」、美術手帖、9月2日
「EXHIBITIONS」、美術手帖、9月2日
「ニュース」、Fashion Press、9月6日
「ニュース」、artscape、9月20日
「CLUTURE」、GINZA、9月20日
「イベント」、ひろしま公式観光サイト「Dive!Hiroshima」、9月21日
「イベント」、ArtSticker、9月21日
「美術館・博物館」、MIRAI、9月21日

出品目録

No.	作品名/Title	制作年	技法・材質	寸法 (cm)・上映時間	所蔵
1	果物への暴力 Violence Against Fruits	2000	シングルチャンネルビデオ、カラー、ステレオ	3'4"	作家蔵
2	ノック Ketok	2002	シングルチャンネルビデオ、カラー、ステレオ	5'41"	作家蔵
3	どこ出身ですか Where Do You Originally Come From	2003	シングルチャンネルビデオ、カラー、サウンド	1'15"	作家蔵
4	すべて順調 Everything's OK	2003	シングルチャンネルビデオ、カラー、ステレオ	4'52"	作家蔵
5	世界のはじまり How the World Began	2006	シングルチャンネルビデオ、カラー、サウンド	6'29"	作家蔵
6	一体感の(再)集結—ステージ14 (Re) Collection of Togetherness - stage 14	2007・2024	ハンドメイドバスポート(133点)	サイズ可変	作家蔵
7	侵略 Invasion	2008	キネティックインスタレーション、マグネット、糸、カミソリの刃、紙	サイズ可変	作家蔵
8	ならず者のための研究 Study for Wanton	2008	4チャンネルシンクロビデオインスタレーション、カラー、ステレオ	6'44"(各)	作家蔵
9	私たちは花を記録しない、ジャカルタ Nous ne notons pas les fleurs, Jakarta	2010	8チャンネルビデオインスタレーション、カラー、サウンド	ループ	Wiyu Wahono蔵
10	世界—国際的なアーティスト The Most International Artist in the Universe	2011	シングルチャンネルビデオ、カラー、サウンド	1'	作家蔵
11	崩壊 Fallen	2011	シングルチャンネルビデオ、カラー、ステレオ	18'43"	作家蔵
12	メキシコシティのための三つの研究 Three Études for Mexico City	2014	3つのシングルチャンネルビデオ、カラー、ステレオ	Paso:1'53" Movida:2'12" Cruce:1'25"	作家蔵
13	映画のための提案:葉の内側から見る森の光景 Proposal for a Film: Within the Leaves, a Sight of the Forest	2016	シングルチャンネルビデオ、カラー、ステレオ	25'31"	作家蔵
14	二つのカチュチャ Dos Cachuchas	2018	2チャンネルシンクロビデオインスタレーション、透過スクリーン、カラー、ステレオ	14'58"(各)	作家蔵
15	記憶は脆弱(そして真実は壊れやすい) Memory is Frail (and Truth Brittle)	2019	フローイングインスタレーション、木炭、鉛筆・コットンペーパー(115点組)	サイズ可変	作家蔵
16	サブテキスト—河原の(タイトル)(1965)にちなんで Subtexts — after Kawara's Title, 1965	2019	絵画インスタレーション、アクリルキャンバス(68点組)	サイズ可変	作家蔵
17	コンテキスト—河原の(タイトル)(1965)にちなんで Context — after Kawara's Title, 1965	2023	日付絵画インスタレーション、木製額、NARAウェブサイトへのQRコード、アクリルキャンバス(65点組) 本展ではQRコードからアクセスするデジタルコンテンツとして紹介	サイズ可変	Courtesy of Baik Art
18	実体の不在、密度 Absence in Substantia, Density	2023	インク・ペーパー・ナイロン、ポリエステルファイバー	337×178×5	Evelyn Halim蔵
19	実体の不在、頻度 Absence in Substantia, Frequency	2023	インク・ペーパー・ナイロン、ポリエステルファイバー	350×180×5	Evelyn Halim蔵
20	記憶は脆弱(そして真実はあやふやになる) Memory is Frail (and Truth Falters)	2023	フローイングインスタレーション、木炭、鉛筆・コットンペーパー、双眼鏡(38点組)	サイズ可変	作家蔵
21	境界上の死(生と死のはざま):アッサンブラージュ Liminal Death: Assemblage	2024	プリント・オーガジー(3点組)	510×130(各)	作家蔵
22	ある記憶は展開する Some Memory Unfurls	2024	パレオエクリシス(オオルリアゲハ)標本、ナイロンモノフィラメント、スプリットショットシカー、標本ピン、探簞刺、アクリル鏡、アクリルモノマー、パワダー	28×30.5×18	作家蔵
23	記憶は脆弱(そして真実は別のところに) Memory is Frail (and Truth Elsewhere)	2024	フローイングインスタレーション、木炭、鉛筆・コットンペーパー(58点組)	サイズ可変	作家蔵

原田裕規:ホーム・ポート

Yuki Harada : Home Port



会期 2024年11月30日(土)～2025年2月9日(日)
会場 展示室B-2、B-3
観覧料 一般1,100円(850円)、大学生800円(600円)、高校生・65歳以上550円(400円)、中学生以下無料
※()内は前売り及び30名以上の団体料金
主催 広島市現代美術館
後援 広島県、広島市教育委員会、中国新聞社、朝日新聞広島総局、毎日新聞広島支局、読売新聞広島総局、中国放送、テレビ新広島、広島テレビ、広島ホームテレビ、広島エフエム放送、尾道エフエム放送
助成 公益財団法人小笠原敏晶記念財団、公益財団法人朝日新聞文化財団
支援 令和6年度文化庁メディア芸術クリエイター育成支援事業
機材協力 CG-ARTS
担当 松岡剛、清水和音
入場者数 4,271人

内容 原田裕規(1989-)は、2012年に「ラッセン展」や「心霊写真展」の企画でデビューし、社会の中で広く知られる視覚文化を題材とするプロジェクトからその活動をスタートさせた。その後、人々が日常的に生み出し、接している記念写真、あるいはゲームなどで用いられる画像生成技術といった事象へと関心を広げながら、パフォーマンスや映像、インスタレーションといった幅広い表現に結実させてきた。また近年は、広島や山口からハワイへ渡った移民について調査し、日系アメリカ人の記憶や文化を題材にした作品を発表している。最初期から最新作までを紹介した本展は、会場の特性を活かした回遊型の動線を辿りつつ、空間に呼応するように作品が配置され、空間全体が作家の歩みを物語るインスタレーションとして構成された。

カタログ 『原田裕規:ホーム・ポート』
発行:フィルムアート社
発行年:2025年
ページ数:136ページ

関連プログラム

- 11月30日(土) 「アーティスト・トーク」アーティスト:原田裕規[58人]
- 12月15日(日) 対談:「ハワイと瀬戸内の深いつながり」講師:木元眞琴(日本ハワイ移民資料館館長)、原田裕規[42人]
- 12月21日(土) 「学芸員によるギャラリートーク」松岡剛[20人]
- 2025年
- 1月4日(土) 「〈シャドーイング(3つの自画像)〉特別上映+作家トーク」アーティスト:原田裕規[51人]
- 1月18日(土) 学芸員によるギャラリートーク」松岡剛[24人]

※[]内は参加者数

バブリシティ

- 新聞
「他者と経験分かち合うアート」、中国新聞、1月21日、13面、木原由維
- 定期刊行物(雑誌)
「12月のエンタメnavi」、タウン情報ひろしま、12月号、70ページ
「今月の展覧会ガイド」、アートコレクターズ、12月号、100ページ
「展覧会PREVIEW」、美術の窓、1月号、149ページ
「Schedule Museum」、ギャラリー、1月号、161ページ
「information」、アイデア、1月号、157ページ
「宮津大輔が選ぶNew media Art」、アートコレクターズ、5月号、120ページ、宮津大輔
「宮津大輔が選ぶNew media Art」、アートコレクターズ、6月号、120ページ、宮津大輔

- 定期刊行物(その他)
「読者プレゼント」、Workin広島版、11/25号、32ページ
「特約店じょうほう」、ドゥプレタイムス、12月号、6ページ
「Event Guide」、Workin広島版、12月号、40ページ
「ART」、Wink、12月号、71ページ
「施設のイベント」、ひろしま市民と市政、12/1号、6ページ
「おでかけ日和」、リビングひろしま、12/6号、5ページ
「Entertainment」、トライアングル、1月号、49ページ
「ART」、Wink、1月号、67ページ
「特約店じょうほう」、ドゥプレタイムス、1月号、6ページ
「情報掲示板」「読者プレゼント」、ウェンディ広島、1月号、17・22ページ
「情報掲示板」、ウェンディ広島、2月号、14ページ

●テレビ
「鈴木福のミミヨリ!ひろしま」、中国放送、12月8日

●ラジオ
「You Gotta Radio」、FMおのみち、12月11日、松岡剛

●WEB

「ニュース」、Fashion Press、11月19日
 「NEWS」、美術手帖、11月20日
 「EXHIBITIONS」、美術手帖、11月30日
 「原田裕規:ホーム・ポート」(広島市現代美術館)開幕レポート。円環のなかで見つめる「わたし」、美術手帖、11月30日、橋爪勇介
 「イベント」、ひろしま公式観光サイト「Dive!Hiroshima」、11月30日

「美術館・博物館」、MIRAI、11月30日
 「EXHIBITIONS」、ART AgendA、11月30日
 「ニュース」、JAGDA、11月30日
 「イベント」、ArtSticker、11月30日
 「年末年始に見たいアートイベントTOP10」、ARTnews JAPAN、12月27日、AYA KUDO、MARIKA NAKAMURA

出品目録

No.	作家名/Artist	作品名/Title	制作年	技法・材質	寸法(cm)・上映時間	備考
1	原田裕規 HARADA Yuki	〈シャドーイング(トミゴロウ)〉 Shadowing (Tomigoro)	2023	ビデオ(WXGA, カラー, サウンド)	5'18"	日本ハワイ移民資料館蔵 脚本・編集・監督:原田裕規 脚読:比嘉マリ、原田裕規 ビジョン英語:比嘉マリ 英文編集:ジェームス・ケテイング 協力:大谷マリ、比嘉美代、塚本麻莉 底本:宮本常一「俺田富五郎翁」[海ゆかば]
2	原田裕規 HARADA Yuki	〈シャドーイング(ダン)〉 Shadowing (Dan)	2023	ビデオ(WXGA, カラー, サウンド)	4'58"	日本ハワイ移民資料館蔵 脚本・編集・監督:原田裕規 脚読:ドウェイン・ムカイ、原田裕規 ビジョン英語:ドウェイン・ムカイ 英文編集:ジェームス・ケテイング 山口井・渡井治郎 協力:リン・ミチエ・キムラ 底本:宮本常一「私の祖父」
3	原田裕規 HARADA Yuki	〈シャドーイング(マイコ)〉 Shadowing (Maiko)	2023	ビデオ(WXGA, カラー, サウンド)	7'56"	日本ハワイ移民資料館蔵 脚本・編集・監督:原田裕規 脚読:リン・ミチエ・キムラ、原田裕規 ビジョン英語:リン・ミチエ・キムラ 英文編集:ジェームス・ケテイング 協力:カリ・アレクサンダー、ロン・リ里郡
4	原田裕規 HARADA Yuki	〈シャドーイング(ケンジ)〉 Shadowing (Kenji)	2022	ビデオ(OVGA, カラー, サウンド)	16'24"	日本ハワイ移民資料館蔵 脚本・編集・監督:原田裕規 脚読:カリ・アレクサンダー、原田裕規 ビジョン英語:カリ・アレクサンダー 英文編集:アンドレアス・シュトゥールマン 協力:ロン・リ里郡、チェル・ス、原田真次、田中西 底本:ブレンダント「ハワイ妖怪ツアー」
5	原田裕規 HARADA Yuki	〈写真の山〉 A Mountain of Images	2017	写真、アルバム、他	サイズ可変	作家蔵
6	原田裕規 HARADA Yuki	〈One Million Seeings〉 One Million Seeings	2024	ビデオ(FHD, カラー, サウンド)	24"	作家蔵 パフォーマンス:原田裕規 シネマトグラフィ:渡辺真太郎、藤田恵実 撮影協力:那須高崇 森のキューブ
7	原田裕規 HARADA Yuki	〈One Million Seeings〉 One Million Seeings	2023	ビデオ(4K, カラー, サウンド)	24"	パフォーマンス:原田裕規 シネマトグラフィ:渡辺真太郎 撮影協力:有楽町ビルデンブ 協力:YAU STUDIO 制作委託:TOKYO PHOTOGRAPHIC RESEARCH PROJECT
8	原田裕規 HARADA Yuki	〈One Million Seeings〉 One Million Seeings	2021	ビデオ(4K, カラー, サウンド)	24"	作家蔵 パフォーマンス:原田裕規 シネマトグラフィ:渡辺真太郎 ロケーション:ホテルグレイスリー新宿
9	原田裕規 HARADA Yuki	〈One Million Seeings〉 One Million Seeings	2019	ビデオ(4K, カラー, サウンド)	24'5'21"	広島市現代美術館蔵 アドバイザー:和田信太郎 アシスタント:中橋健一、村松桂 技術協力:コ本や horkbooks 撮影協力:KEN NAKAHASHI
10	原田裕規 HARADA Yuki	〈Waiting for〉 Waiting for	2021	ビデオ(4K, カラー, サウンド)	33'19'26"	作家蔵 脚読・編集・監督:原田裕規 CGIデザイン・アニメーション:SUNJUNJIE リサーチ:自警編集:田中西 協力:村松桂、西尾完太
11	原田裕規 HARADA Yuki	〈ホーム・ポート〉 Home Port	2023/ 2024	インクジェットプリント	82.9×142.8	作家蔵 CGI:SUNJUNJIE
12	原田裕規 HARADA Yuki	〈ホーム・ポート〉 Home Port	2023/ 2024	インクジェットプリント	82.9×142.8	作家蔵 CGI:SUNJUNJIE
13	原田裕規 HARADA Yuki	〈ホーム・ポート〉 Home Port	2023/ 2024	インクジェットプリント	82.9×142.8	作家蔵 CGI:SUNJUNJIE
14	原田裕規 HARADA Yuki	〈ホーム・ポート〉 Home Port	2023/ 2024	インクジェットプリント	82.9×142.8	作家蔵 CGI:SUNJUNJIE
15	原田裕規 HARADA Yuki	〈光庭〉 Light Court	2024	インクジェットプリント	103.0×103.0	作家蔵 CGI:SUNJUNJIE
16	原田裕規 HARADA Yuki	〈残照〉 Afterglow	2024	インクジェットプリント	99.2×135.1	作家蔵 CGI:SUNJUNJIE
17	原田裕規 HARADA Yuki	〈残照〉 Afterglow	2024	インクジェットプリント	99.2×135.1	作家蔵 CGI:SUNJUNJIE
18	原田裕規 HARADA Yuki	〈ホーム・ポート〉 Home Port	2024	塩化ビニールシートにインクジェット プリント	230.0×298.0	作家蔵 CGI:SUNJUNJIE

出品目録

No.	作家名/Artist	作品名/Title	制作年	技法・材質	寸法(cm)・上映時間	備考
19	原田裕規 HARADA Yuki	〈ホーム・ポート〉 Home Port	2023	ビデオ(4K, カラー, サウンド)	19'6"	作家蔵 監督・編集:原田裕規 CGIデザイン・アニメーション:SUNJUNJIE サウンドデザイン:小松千倫
20	原田裕規 HARADA Yuki	〈湖に見せる絵(海辺の僧侶)〉 Painting to Be Shown to the Lake (The Monk by the Sea)	2022	ビデオ(4K, カラー, サウンド)	7'57"	作家蔵 パフォーマンス:原田裕規 シネマトグラフィ:渡辺真太郎 撮影アシスタント:田中西 協力:青木英俊、富井玲子、松澤久美子 ロケーション:諏訪湖
21	原田裕規 HARADA Yuki	〈湖に見せる絵(ドービーニーの庭)〉 Painting to Be Shown to the Lake (Daubigny's Garden)	2022	ビデオ(4K, カラー, サウンド)	7'57"	作家蔵 パフォーマンス:原田裕規 シネマトグラフィ:渡辺真太郎 撮影アシスタント:キム・ミンズ 制作委託:江陵国際芸術祭2022 ロケーション:諏訪湖
22		原田家の実家に飾られていたクリスチャン・ラッセン作品〈マザーズ・ラブ〉 Christian Lassen's Mother's Love, displayed in Herada's parents' house				原田家蔵
23	クリスチャン・ラッセン Christian LASSEN	〈ホーム・ポート〉 Home Port				原田裕規氏蔵
24		カスパー・ダーヴィット・フリードリヒ〈リーゼンゲビルゲ〉(1830-1835) 図版 「朝日美術館 西洋編4 フリードリヒ」(朝日新聞社、1996)より Plate of The Riesengebirge (1830-1835) by Caspar David Friedrich from Asahi Bijutsukan: Western edition 4, The Asahi Shimbun Company, 1996				原田裕規氏蔵
25		東山魁夷〈残照〉(1947) 図版 「生涯110年 東山魁夷展」(日本経済新聞社、2018)より Plate of Afterglow (1947) by Kai Higashiyama from HIGASHIYAMA KAI Retrospective 1908-1999, Nikkei inc., 2018				中橋健一氏蔵
26		黒川紀章〈山形ハイドリームランド〉(1966) 図版 「黒川紀章 未来を創造する」(ノーベル書房、1969)より Plate of Resort Center Yamagata Hawaii Dreamland (1966) by Kisho Kurokawa from Kisho Kurokawa: Architecture of Metabolism, Novel Shobo, 1969				広島市現代美術館蔵
27	デザイン:Yono(ヨノ) Designed by Yono	バレンシア・チェア Valencia chair		合板、木材		原田裕規氏蔵
28	原田裕規 HARADA Yuki	〈錦帯橋〉 Kintai Bridge	2003- 2004	油彩・キャンバス	32.0×41.0	作家蔵
29	原田裕規 HARADA Yuki	〈黄色い風景〉 Yellow Landscape	2004	油彩・キャンバス	31.8×41.0	作家蔵

Perfume COSTUME MUSEUM

Perfume COSTUME MUSEUM



関連プログラム

2025年
2月22日(土) 「展覧会企画協力者によるレクチャー」講師:久慈達也 (DESIGN MUSEUM LAB、京都芸術大学准教授) [112人]

※[]内は参加者数

パブリシティ

●新聞
「パフェム衣装も芸術品」、毎日新聞、12月24日、15面、山本尚美
「Perfume「お好み焼き形」チケット」、読売新聞(夕刊)、12月25日、8面、山下佳穂
「パフェム「お好み形」入場券」、読売新聞、12月26日、25面、山下佳穂
「Perfume歴代衣装見て」、山陽新聞、2月22日、23面、平田亜沙美
「衣装に視線ラブビーム」、毎日新聞、2月23日、19面、安徳祐
「パフェム衣装で魅了」、読売新聞、2月23日、23面、山下佳穂
「Chugoku Sketch テーマ オススメ!くなる 衣装きりり 広島」、読売新聞、3月5日、22面、前田典仁
「Perfume 進化のミュージアム」、朝日新聞、4月1日、23面、魚住あかり
「芸能 / 衣装でたどる3人の軌跡」、中国新聞、4月26日、10面、写真・木村健太、文・渡辺敬子
「大窪シゲキの9ジラジ新聞 / 高校生も刺激 衣装展PR」、朝日新聞、5月15日、17面、大窪シゲキ
「衣装でたどるPerfumeの軌跡」、産経新聞(夕刊)、5月15日、5面、矢田幸己
「Perfume活動休止へ」、中国新聞、9月22日、20面
「Perfume「一生続ける」」、中国新聞、10月18日、13面、木村健太

●定期刊行物(雑誌)
「展覧会ダイジェスト138」、美術の窓、12月号、130ページ
「2月のエンタメnavi」、タウン情報ひろしま、2月号、58ページ
「ART」、Wink、2月号、65ページ
「今日の展覧会ガイド」、アートコレクターズ、3月号、113ページ
「ART、今月のPresent」、Wink、3月号、69-95ページ
「全国展覧会情報」、芸術新潮、3月号、134ページ
「ART」、Wink、4月号、73ページ

会 期 2025年2月22日(土)～6月1日(日)
会 場 B展示室
観 覧 料 一般1,600円(1,250円)、大学生1,200円(900円)、高校生・65歳以上800円(600円)、中学生以下無料
※()内は前売り及び30名以上の団体料金
主 催 広島市現代美術館、TSSテレビ新広島
協 力 アミューズ、ユニバーサルミュージック、装苑(文化出版社)
企 画 神戸新聞社
担 当 野中明、角奈緒子
入場者数 29,654人(令和6年度:9,848人 / 令和7年度:19,806人)

内 容 広島に生まれ、世界を舞台に第一線で活躍を続ける3人組テクノポップユニットPerfumeの初の大規模衣装展。全国巡回展(全6会場)の4会場目となった本館では、楽曲やライブなどで実際に着用された衣装177着、関連資料11件を4つの章立てで紹介した。第1～3章はPerfumeのメジャーデビュー以降の衣装を時系列でたどり、第4章ではステージ衣装を特集。3人が本展のために特別に選んだ衣装も展示し、初公開となる型紙やデザインの発想源を示す制作資料も紹介することで、Perfumeの魅力をもっと

また、展覧会の企画構成の一部として広島会場限定の特別記念チケットの販売、特設ショップの開設、音声ガイドの貸し出しを実施。あわせて、館内共用スペースにおいて直筆サイン入りフォトスポットの設置(回廊)、コスチュームぬりえの配布(3種 / モカモカ)を行うことで来場者の満足度の向上を図った。

カタログ 「Perfume COSTUME MUSEUM」

企画・発行:神戸新聞社
発行年:2023年
ページ数:68ページ

「チケブレ」、美術の窓、4月号、233ページ
「全国展覧会情報」、芸術新潮、4月号、112ページ
「ART」、Wink、5月号、65ページ

●定期刊行物(その他)
「Event Guide」、Workin広島版、12/9号、27ページ
「読者プレゼント」、Workin広島版、12/23号、37ページ
「広島県エリア」、せとうちアート通信、vol.11、8ページ
「特約店じょうほう」、ダブルタイムス、2月号、6ページ
「広島市内でのイベントを紹介」、広報えたじま、2月号、13ページ
「文化イベント」、to you、2月号、4-5ページ
「施設イベント」、ひろしま市民と市政、2/1号、6ページ
「おすすめイベント情報」、Workin広島版、2/10号、33ページ
「お出掛けTOPICS」、リビングひろしま、2/28号、5ページ
「情報掲示板」、ウェンディ広島、3月号、14ページ
「特約店じょうほう」、ダブルタイムス、3月号、7ページ
「今月の表紙」、広島交響楽団第449回定期演奏会、3/8号、表紙・16ページ
「ついに広島で開幕。『Perfume』の衣装展」、経済レポート、3/11号、17ページ
「広島県エリア」、せとうちアート通信、Vol.12、9ページ
「Perfume COSTUME MUSEUM」[情報掲示板]、ウェンディ広島、4月号、6-14ページ
「特約店じょうほう」、ダブルタイムス、4月号、6ページ
「Family Event Information」、マンパベル、4月号、52ページ
「情報掲示板」、ウェンディ広島、5月号、14ページ
「特約店じょうほう」、ダブルタイムス、5月号、5ページ

●テレビ
「TSSライク!」、テレビ新広島、2月21日
「元就。二百万一心!」、中国放送、2月22日
「ひろしま満点ママ!!」、テレビ新広島、3月4日
「ひろしま満点ママ!!」、テレビ新広島、3月11日
「TSSライク!」、テレビ新広島、3月24日
「FNN TSS Live News days」、テレビ新広島、3月28日
「TSSライク!」、テレビ新広島、3月28日
「ひろしま満点ママ!!」、テレビ新広島、4月3日
「全力応援 スポーツLOVERS」、テレビ新広島、4月12日
「ひろしま満点ママ!!」、テレビ新広島、4月15日
「ひろしま満点ママ!!」、テレビ新広島、5月7日
「お好みワイドひろしま」、NHK総合(広島)、5月16日
「ひろしま満点ママ!!」、テレビ新広島、5月27日

●ラジオ
「昼なんじゃけん!761」、FMはつかいち、2月11日、野中明
「You Gotta Radio」、FMおのみち、3月12日、野中明
「広島音楽応援番組 オトホレワンフン」、広島FM、3月21日
「キンヨーポコチャ」、広島FM、4月11日、寺口淳治
「昼なんじゃけん!761」、FMはつかいち、4月15日、川空ほのか
「まるっと日常ワイド えんまん。」、RCCラジオ、4月22日、野中明
「You Gotta Radio」、FMおのみち、4月29日、竹口浩司
「大窪シゲキの9ジラジ」、広島FM、5月7日、広島市立広島工業高等学校放送部
「大窪シゲキの9ジラジ」、広島FM、5月12日、広島県立広島工業高等学校放送部
「大窪シゲキの9ジラジ」、広島FM、5月13日、比治山女子高等学校放送部
「大窪シゲキの9ジラジ」、広島FM、5月14日、進徳女子高等学校放送部

出品目録

※「資料No.」は巡回展全体にかかる管理番号であり、必ずしも連続しない(会場によって出品資料の異動が発生するため)

※所蔵者表記のない資料はすべてアミューズ蔵

資料No.	衣装名(使用楽曲・ライブ名) / Title(Title of music or live performance)	制作年	制作者 / Artist(D:Designer / M:Patternmaker / S:Styling)	所蔵	備考
第1章 近未来型の挑戦者 Chapter 1: A Futuristic Challenger					
1	リニアモーターガール Linearmotor Girl	2005	D:高橋恵美 D: Emi Takahashi		
2	コンピューターシティ Computer City	2006	S, M:内澤研 S, M: Ken Uchizawa		
3	Dream Fighter Dream Fighter	2008	S:内澤研 S: Ken Uchizawa		
4	シークレットシークレット Secret Secret	2008	D, M:内澤研 D, M: Ken Uchizawa		がしゆか枠・首パーツ2023年再制作
5	第59回NHK紅白歌合戦 The 59th NHK Kohaku Uta Gassen	2008	D, M:内澤研 D, M: Ken Uchizawa		
6	ワンルーム・ディスコ One Room Disco	2009	S, M:内澤研 S, M: Ken Uchizawa		
7	NIGHT FLIGHT NIGHT FLIGHT	2009	D, M:内澤研 D, M: Ken Uchizawa		
8	不自然なガール Fushizen na Girl	2010	D, M:内澤研、鈴木淳哉 D, M: Ken Uchizawa, Juruya Suzuki		おーちゃん衣装肩パーツ: 2020年再制作
9	ねえ Nee	2010	S, M:内澤研 S, M: Ken Uchizawa		
10	レーザービーム Laser Beam	2011	D:三田真一 / M:内藤智恵 D: Shinichi Mita / M: Chie Naito		
11	GLITTER GLITTER	2011	D:三田真一 / M:内藤智恵 D: Shinichi Mita / M: Chie Naito		のっちゃん2023年再制作
12	JPN JPN	2011	D:三田真一 D: Shinichi Mita		
第2章 止まらない進化 Chapter 2: Unstoppable Evolution					
13	Spring of Life Spring of Life	2012	D:三田真一 / M:旭美佳 D: Shinichi Mita / M: Mika Asahi		

「大窪シゲキの9ジラジ」、広島FM、5月15日
「大窪シゲキの9ジラジ」、広島FM、5月20日、広島県立普実高等学校放送部

●WEB
「EXHIBITION」、ARTAgenda、12月8日
「ニュース」、Fashion Press、12月11日
「プレビュー」、美術展ナビ、2月17日、読売新聞美術展ナビ編集班・美間実沙
「Perfumeの歴代衣装 間近に 出身地の広島で22日から特別展」、山陽新聞、2月21日
「Perfume COSTUME MUSEUM潜入レポート①～⑥」、日刊わしら、2月21日、キムラミチタ
「EXHIBITIONS」、美術手帖、2月22日
「イベント」、ひろしま公式観光サイト「Dive!Hiroshima」、2月27日
「「音楽を見る」時代のユニット・Perfume 歴代衣装180着が出身地・広島で公開」、産経新聞、3月2日、矢田幸己
「大切に保管されていたコスチュームを大公開」、旅行情報アプリマガジン「週刊じゃらん」、4月配信
「Perfume衣装、地元・広島に“凱旋” 歴代の180点、メジャーデビュー20周年で巡回展」、山陰中央新報デジタル、5月2日、錦織拓郎

●外部連携
Perfumeコーナーを展開、タワーレコード広島店、1月15日～6月1日
「特別記念チケット付き宿泊プラン」販売、レストラン優待、オリエンタルホテル広島、2月10日～6月1日
「ゲンビ割」(展覧会チケット提示での割引)、広島段原ショッピングセンター、2月22日～6月1日

コレクション展 2024-I

ハイライト+リレーションズ [ゲストアーティスト:手嶋勇氣]

Collection Exhibition 2024-I
Highlights + Relations [Guest Artist: Tejima Yuki]



会期 4月27(土)~8月12日(月・休)
会場 A展示室
観覧料 一般350円(250円)、大学生250円(150円)、高校生・65歳以上150円(100円)、中学生以下無料
※()内は30名以上の団体料金
割引 【開館35周年記念日】5月3日:全館無料
【こどもの日】5月5日:高校生以下無料
【ハロー!コレクションデー】毎月第3日曜日:コレクション展無料
担当 松岡剛、笹野摩耶、川上真由子
入場者数 11,655人

内容 収蔵作品の魅力を多角的に紹介する展覧会。展示の前半は「ハイライト」と題し、当館コレクションを代表する「名品」や、キーワードに沿った作品紹介、さらには収集の独自性を示す「ヒロシマ」をテーマとした作品群など、観客の多様な関心に応じて、各人それぞれの鑑賞への意味付けと、作品への親しみを促すことを狙いとする。また、後半の「リレーションズ」では、手嶋勇氣をゲストに迎え、作家が当館の休館中プロジェクトとして館外で発表した大型絵画作品を中心に、おもに広島風景をモチーフにした作品群で構成した。本コーナーは、未だ収集が果たせていない若い世代の作家による、広島という地域性への新たなアプローチを紹介するものであり、「ヒロシマ」をテーマとしたハイライトの一部と対比されている。また、制作への理解と親しみを促すことを目的として、会期中には絵画作品を協働で制作するワークショップを公開で実施した。

関連イベント

- 4月28日(日) 公開制作「手嶋勇氣による共同公開制作:みる編」
画家:手嶋勇氣[5人]
- 5月12日(日) 公開制作・ワークショップ「手嶋勇氣による共同公開制作:やってみる編」
画家:手嶋勇氣[10人]
- 5月26日(日) 公開制作・ワークショップ「手嶋勇氣による共同公開制作:やってみる編」
画家:手嶋勇氣[35人]
- 6月9日(日) ワークショップ「手嶋勇氣による共同公開制作:やってみる編」
画家:手嶋勇氣[37人]
- 8月3日(土) トークイベント「手嶋勇氣と巡るコレクション展あっちこっち」
講師:手嶋勇氣(本展出品作家)、松岡剛(担当学芸員)[26人]

※[]内は参加者数

パブリシティ

●新聞
「開館35周年 あす全館無料開放」、中国新聞、2024.5月2日、10面、木原由維

●定期刊行物(その他)
「ひとこえ/手嶋勇氣さん 画家」、to you、5月号、表紙
「Mail Box」、to you、6月号、15ページ
「施設のイベント」、ひろしま市民と市政、6/1号、6ページ
「お出掛けTOPICS」、リビングひろしま、6/14号、8ページ

●テレビ
「ビタニュー」、広島ホームテレビ、5月2日
「イマナマ!」、中国放送、5月2日
「鈴木福のミミヨリ!ひろしま」、中国放送、5月12日

●ラジオ
「まるっと日常ワイドえんまん。」、RCCラジオ、8月6日、竹口浩司

●WEB
「EXHIBITIONS」、ART AgendA、4月27日
「EXHIBITIONS」、美術手帖、4月27日
「イベント」、ひろしま公式観光サイト「Dive!Hiroshima」、4月27日

出品目録

●前期:4月27日~6月16日 ○後期:6月18日~8月12日

No.	作家名/Artist	作品名/Title	制作年	技法・材質	寸法(cm)・上映時間	備考
A-1 環境と人						
1	岡本太郎 OKAMOTO Taro	《明日の神話—号原画》 1st Stage Painting for Myth of Tomorrow	1967	油彩・キャンバス	48.0×195.0	岡本太郎記念現代芸術振興財団より寄託
2	奈良美智 NARA Yoshitomo	《"Missing in Action -Girl meets Boy-"のためのドロイー ング》 Study for "Missing in Action -Girl meets Boy-"	2005	アクリル、色鉛筆・封筒	38.5×28.5	
3	奈良美智 NARA Yoshitomo	《"Missing in Action -Girl meets Boy-"のためのドロイー ング》 Study for "Missing in Action -Girl meets Boy-"	2005	色鉛筆、インク・紙	29.7×21.0	
4	奈良美智 NARA Yoshitomo	《"Missing in Action -Girl meets Boy-"のためのドロイー ング》 Study for "Missing in Action -Girl meets Boy-"	2005	色鉛筆・紙	29.7×21.0	
5	奈良美智 NARA Yoshitomo	《"Missing in Action -Girl meets Boy-"のためのドロイー ング》 Study for "Missing in Action -Girl meets Boy-"	2005	色鉛筆・紙	29.7×21.0	
6	会田誠 AIDA Makoto	《人(hito-human being)PROJECT》 HITO(hi-to-human being)PROJECT	2002	アクリル・キャンバス、インクジェット ドプリント、紙	197.0×437.0	
7	村上隆 MURAKAMI Takashi	《地球戦隊エコレンジャー》 Eco Eco Rangers Earth Force	2005	シルク、アクリル、箔・和紙、木	27.3×37.0	
8	ロバート・スミソン Robert Smithson	《スパイラル・ジェティ》 Spiral Jetty	1970	カラー、サウンド	35'06"	
9	蔡國強 CAI Guo-Qiang	《キノコ雲のある世紀:20世紀のためのプロジェクト(ソルト レイク)》 The Century with Mushroom Clouds : Project for the 20th Century (Salt Lake)	1996/2008	ラムダプリント	157.5×225.0	甲斐哲路氏より寄贈
10	デヴィッド・ナッシュ David NASH	《斜面に横たわるカラマツ》 Larch Lying on a Slope	1982	木炭・キャンバスに裏うちされた紙	210.0×972.6	
11	蔡國強 CAI Guo-Qiang	《無人の自然》 Drawing for Unmanned Nature	2008	鉛筆、ボールペン・紙	29.4×158.0	呉紅虹氏より寄贈
12	蔡國強 CAI Guo-Qiang	《キノコ雲のある世紀:20世紀のためのプロジェクト(ネヴァ ダ核実験場)》 The Century with Mushroom Clouds : Project for the 20th Century (Nevada Nuclear Test Site)	1996/2008	ラムダプリント	157.5×225.0	甲斐哲路氏より寄贈
A-2 作家とスタイル						
13	横山奈美 YOKOYAMA Nami	《女神になりたい女について》 On a Woman Who Want to Be Venus	2016	木炭・紙	89.7×68.8	個人蔵
14	森村泰昌 MORIMURA Yasumasa	《階段を降りる天使》 Angels Descending a Staircase	1991	カラー写真プリント、透明メディアウ ム	240.0×206.0	
15	● シンディ・シャーマン Cindy SHERMAN	《無題#118》 Untitled #118	1983	発色現像方式印画	87.0×59.0	
16	○ シンディ・シャーマン Cindy SHERMAN	《無題#123》 Untitled #123	1983	発色現像方式印画	163.8×112.4	
17	横山奈美 YOKOYAMA Nami	《女神になりたい女について》 On a Woman Who Want to Be Venus	2016	木炭・紙	108.0×108.0	個人蔵
18	● 横溝静 YOKOMIZO Shuzuka	《Stranger No.1》 Stranger No.1	1998	発色現像方式印画	79.0×79.0	国際交流基金より寄託
19	● 横溝静 YOKOMIZO Shuzuka	《Stranger No.3》 Stranger No.3	1999	発色現像方式印画	79.0×79.0	国際交流基金より寄託
20	● 横溝静 YOKOMIZO Shuzuka	《Stranger No.7》 Stranger No.7	1998	発色現像方式印画	79.0×79.0	国際交流基金より寄託
21	○ 横溝静 YOKOMIZO Shuzuka	《Stranger No.8》 Stranger No.8	1999	発色現像方式印画	79.0×79.0	国際交流基金より寄託
22	○ 横溝静 YOKOMIZO Shuzuka	《Stranger No.17》 Stranger No.17	2000	発色現像方式印画	79.0×79.0	国際交流基金より寄託
23	○ 横溝静 YOKOMIZO Shuzuka	《Stranger No.23》 Stranger No.23	2000	発色現像方式印画	79.0×79.0	国際交流基金より寄託
24	やなぎみわ YANAGI Miwa	《Paradise TrespasserI》 Paradise TrespasserI	1998	写真・アクリル	360.4×180.3	
25	全氏徹平 KANEUJI Teppi	《Model of Something #6》 Model of Something #6	2013	油性ペン・アクリルボックス	可変	作家より寄託

出品目録

●前期:4月27日～6月16日 ○後期:6月18日～8月12日

No.	作家名/Artist	作品名/Title	制作年	技法・材質	寸法 (cm)・上映時間	備考
26	宇治山哲平 UJIYAMA Teppi	《漲りて四方に》 <i>Endlessly the Universe Interacts, Expands and Flows</i>	1984	油彩・キャンバス	298.6×273.1	宇治山セツ子氏寄贈
27	草間彌生 KUSAMA Yayoi	《とらわれのダニー・ラルー》 <i>DANNY LA RUE (Caged)</i>	1970	彩色された金網、油彩・キャンバス	128.9×98.9	
28	磯辺行久 ISOBE Yukihisa	《ワーク'64-3&4》 <i>WORK '64-3&4</i>	1964	ミクストメディア	182.0×181.5×6.5 182.0×181.5×6.0	
29	赤瀬川原平 AKASEGAWA Genpei	《押収品—パネル作品Ⅲ》 <i>Impounded Object—One thousand Bills Panel Ⅲ</i>	1963	インク、ポルト・パネルに裏打ちされた紙	82.8×182.0×6.0	
30	赤瀬川原平 AKASEGAWA Genpei	《模型千円札Ⅲ》 <i>Model 1,000-Yen Notes Ⅲ</i>		印刷物・薄茶クラフト紙	29.3×19.3	赤瀬川尚子氏寄贈
31	千円札事件懇談会 1,000-Yen Note Incident Round-Table Conference	《東京地方裁判所刑事第701号法廷(第1回公判の経過絵図)》 <i>Criminal Court No. 701 at Tokyo District Court (illustration of the first trial)</i>	1966	印刷物	43.6×30.4	赤瀬川尚子氏寄贈
32	千円札事件懇談会 1,000-Yen Note Incident Round-Table Conference	《千円札裁判押収品目録(修正版)》 <i>Catalogue of Impound Works (modified)</i>	1967	印刷物	59.0×43.3	赤瀬川尚子氏寄贈
33	井上武吉 INOUE Bukichi	《昆虫8眼(昆虫シリーズ)》 <i>Insect 8 Eye, Insect Series</i>	1958	鉄、ガラス	88.0×40.5×20.0	
34	● 吉村益信 YOSHIMURA Masunobu	《Neon Cloud》 <i>Neon Cloud</i>	1968	マジックペン、鉛筆・画用紙	55.0×79.7	
35	● 吉村益信 YOSHIMURA Masunobu	《赤外線室》 <i>Infrared Beam Space</i>	1968	マジックペン、鉛筆・トレーシングペーパー	59.7×85.0	
36	● 吉村益信 YOSHIMURA Masunobu	《NEON RING》 <i>NEON RING</i>	1967	マジックペン、鉛筆・画用紙	55.0×78.5	
37	○ 杉本博司 SUGIMOTO Hiroshi	《SAM ERIC, Pennsylvania》 <i>SAM ERIC, Pennsylvania</i>	1978	写真(ゼラチン・シルバー・プリント)	50.7×60.7	
38	○ 杉本博司 SUGIMOTO Hiroshi	《U.A. RIVOLI, New York》 <i>U.A. RIVOLI, New York</i>	1978	写真(ゼラチン・シルバー・プリント)	50.7×60.7	
39	○ 杉本博司 SUGIMOTO Hiroshi	《AKRON CIVIC, Ohio》 <i>AKRON CIVIC, Ohio</i>	1978	写真(ゼラチン・シルバー・プリント)	50.7×60.7	

A-3 広島／ヒロシマ

40	山路商 YAMAJI Sho	《広島風景》 <i>Hiroshima Scenery</i>	1938	油彩・キャンバス	71.0×88.0	藤井瑞子氏より寄贈
41	山路商 YAMAJI Sho	《自画像》 <i>Self Portrait</i>	1939	油彩・キャンバス	19.8×13.7	山本美邦子氏より寄贈
42	灰谷正夫 HAITANI Masao	《風景》 <i>Landscape</i>	1952	油彩・キャンバス	91.0×65.5	灰谷清子氏より寄贈
43	殿数侃 TONOSHIKI Tadashi	《釋寬量信士(父のつめ)》 <i>Shakukanyoshinshi (Father's Nail)</i>	1978	油彩・キャンバス	24.0×33.5	天野紋子氏より寄贈
44	殿数侃 TONOSHIKI Tadashi	《霊地(B)3-1》 <i>Landscape of a Life Deceased (B)3-1</i>	1981	シルクスクリーン・紙	39.6×56.1	天野紋子氏より寄贈
45	殿数侃 TONOSHIKI Tadashi	《霊地》 <i>Landscape of a Life Deceased</i>	1980-81頃	シルクスクリーン・紙	79.0×109.0	天野紋子氏より寄贈
46	殿数侃 TONOSHIKI Tadashi	《EVENT 原子爆弾》関連資料 <i>Related Material of Atomic Bomb Event</i>	1981	印刷物、写真		天野紋子氏より寄贈
47	殿数侃 TONOSHIKI Tadashi	《まっ赤にぬられてヒロシマが視えた》関連資料 <i>Related Material of Hiroshima Came into Sight by Drawn in Red</i>	1987	印刷物、写真		天野紋子氏より寄贈
48	入野忠芳 IRINO Tadayoshi	《精霊08-2》 <i>Spirit 08-2</i>	2008	油彩・キャンバス	130.0×96.5	入野泰子氏より寄贈
49	入野忠芳 IRINO Tadayoshi	《拘留所壁画関連資料》 <i>Related Material of Mural of Hiroshima Detention Center</i>	1989	ペン・紙、色鉛筆・複写、写真		入野泰子氏より寄贈
50	宮崎進 MIYAZAKI Shin	《「ヒロシマ」この大地の上で》 <i>Hiroshima, On this Earth</i>	2006	麻布、油彩・板	156.0×120.9	
51	宮崎進 MIYAZAKI Shin	《習作 ヒロシマ 川》 <i>Study for Hiroshima River</i>	2005-2006	ミクストメディア・紙	78.7×106.8	作家より寄贈
52	若林奮 WAKABAYASHI Isamu	《DOME》 <i>Dome</i>	1988	鉄	360.0×425.5×220.0	

出品目録

●前期:4月27日～6月16日 ○後期:6月18日～8月12日

No.	作家名/Artist	作品名/Title	制作年	技法・材質	寸法 (cm)・上映時間	備考
53	若林奮 WAKABAYASHI Isamu	《水鏡》 <i>Water Mirror</i>	1997	鉄	28.0×361.0×180.0	
54	宇佐美圭司 USAMI Keiji	《きのご雲の上で》 <i>On Top of the Mushroom Cloud</i>	1988	油彩・キャンバス	249.0×333.4	
55	牛嶋均 USHIJIMA Hitoshi	《人智の研究 ver.5 ゲンバドーム》 <i>Nip ver.5 A-dome</i>	2008	スチール/パイプ 他	303.0×445.0×236.0	作家より寄贈
56	ナイジェル・ホール Nigel HALL	《ヒロシマのための彫刻》 <i>Sculpture for Hiroshima</i>	1986-1987	彩色・アルミニウム	268.0×244.0×75.0	
57	ボイルファミリー Boyle Family	《ヒロシマ・ディptyック》 <i>Hiroshima Diptych</i>	1987-1988	彩色・ファイバーグラス	183.0×184.0×26.8 183.0×182.0×22.0	
58	ロジャー・アックリング Roger ACKLING	《ヒロシマ》 <i>Hiroshima</i>	1987	木	88.6×22.5×4.0ほか	
59	殿数侃 TONOSHIKI Tadashi	《山口—日本海—二位の浜、お好み焼き》関連資料 <i>Related Material of Yamaguchi-Nihonkai-Niinohama, Okonomiyaki</i>	1987	印刷物		天野紋子氏より寄贈
60	殿数侃 TONOSHIKI Tadashi	《山口—日本海—二位ノ浜 お好み焼き》関連資料 <i>Related Material of Yamaguchi-Nihonkai-Niinohama, Okonomiyaki</i>	1987	焼き固めたプラスチック類	120.0×190.0×190.0	天野紋子氏より寄託

A-4 リレーションズ 手嶋勇気ここからの眺め

61	手嶋勇気 TEJIMA Yuki	《AID#1》 <i>AID#1</i>	2019	油彩・キャンバス	39.8×49.7	個人蔵
62	手嶋勇気 TEJIMA Yuki	《AID#11》 <i>AID#11</i>	2020	油彩・キャンバス	41.0×31.8	作家蔵
63	手嶋勇気 TEJIMA Yuki	《AID#12》 <i>AID#12</i>	2020	油彩・キャンバス	41.0×31.8	個人蔵
64	手嶋勇気 TEJIMA Yuki	《AID#15》 <i>AID#15</i>	2020	油彩・キャンバス	60.7×72.4	個人蔵
65	手嶋勇気 TEJIMA Yuki	《AID#10》 <i>AID#10</i>	2020	油彩・キャンバス	91.3×116.8	アートギャラリーミヤウチ蔵
66	手嶋勇気 TEJIMA Yuki	《AID#14》 <i>AID#14</i>	2020	油彩・キャンバス	73.0×52.7	作家蔵
67	手嶋勇気 TEJIMA Yuki	《AID#65》 <i>AID#65</i>	2023	アクリル・キャンバス	22.7×15.8	作家蔵
68	手嶋勇気 TEJIMA Yuki	《AID#64》 <i>AID#64</i>	2023	アクリル・キャンバス	45.5×76.0	作家蔵
69	手嶋勇気 TEJIMA Yuki	《AID#66》 <i>AID#66</i>	2023	アクリル・キャンバス	22.7×15.8	作家蔵
70	手嶋勇気 TEJIMA Yuki	《AID#67》 <i>AID#67</i>	2023	アクリル・キャンバス	45.5×38.0(×2)	作家蔵
71	手嶋勇気 TEJIMA Yuki	《AID#68》 <i>AID#68</i>	2023	アクリル・キャンバス	33.3×33.3	作家蔵
72	手嶋勇気 TEJIMA Yuki	《相生橋 (study for "AID")》 <i>Aioi Bridge (study for "AID")</i>	2022	油彩・キャンバス	14.0×18.0	作家蔵
73	手嶋勇気 TEJIMA Yuki	《広島夏の川 (AID#52)》 <i>Summer River in Hiroshima (AID#52)</i>	2022	油彩・キャンバス	14.0×18.0	作家蔵
74	手嶋勇気 TEJIMA Yuki	《AID#60》 <i>AID#60</i>	2022	アクリル・キャンバス	250.0×700.0	作家蔵
75	手嶋勇気 TEJIMA Yuki	《中央公園 (AID#71)》 <i>Chuo Koen (AID#71)</i>	2024	アクリル・キャンバス	92.3×220.0	作家蔵
76	手嶋勇気 TEJIMA Yuki	《広島風景 (AID#73)》 <i>Hiroshima Scenery (AID#73)</i>	2024	油彩・キャンバス	71.2×88.2	作家蔵
77	手嶋勇気 TEJIMA Yuki	《比治山の黒松 (AID#72)》 <i>Japanese Black Pine in Hijiyama (AID#72)</i>	2024	油彩・キャンバス	37.7×45.7	作家蔵
78	手嶋勇気 TEJIMA Yuki	《AID#74》 <i>AID#74</i>	2024	アクリル・キャンバス	200.0×950.0	作家蔵

コレクション展2024-II

ハイライト+リレーションズ [ゲストアーティスト:中西紗和]

Collection Exhibition 2024-II
Highlights + Relations[Guest Artist: Nakanishi Sawa]



会 期 8月24日(土)～12月8日(日)
 会 場 A展示室
 観 覧 料 一般350円(250円)、大学生250円(150円)、高校生・65歳以上150円(100円)、中学生以下無料
 ※ ()内は30名以上の団体料金
 割 引 【ハロー!コレクションデー】毎月第3日曜日:コレクション展無料
 【文化の日】11月3日:全館無料
 担 当 笹野摩耶、川上真由子、松岡剛
 入場者数 11,381人

内 容 「ハイライト」では、作家独自の作風がわかりやすく表れている作品を集めた「作家とスタイル」、現代美術館が直面している様々な作品保存の課題と実践について紹介する「保存・残すこと」、広島／ヒロシマという地域性に関連付けながら生まれた作品を特集する「広島／ヒロシマ」というテーマに沿って、コレクションを紹介した。さらに、会期中に実施された野外彫刻《アーチ》のメンテナンスの様子を伝えるセクション「《アーチ》のメンテナンス」を設けた。「リレーションズ」では、ブロンズを素材とした鑄造方法によって身の回りにある日用品や生き物をモチーフとした作品を制作する中西紗和をゲストに迎えた。日常生活や私的な記憶と結びつく中西の作品、鑄造と関連するコレクション作品、中西による鑄造制作のプロセスと道具を展示することで、鑄造をめぐる豊かな世界を紹介した。

関連事業

11月9日(土) 「公開修復」竹村京(出品作家) [27人]
 12月7日(土) 「中西紗和による砂型鑄造ワークショップ」中西紗和(ゲストアーティスト) [17人]

※ []内は参加者数

パブリシティ

- 新聞
「ムーアの「アーチ」きれいに」、中国新聞、11月7日、21面、野平慧一「ヘンリー・ムーア作品 初の化粧直し」、読売新聞、11月7日、22面
- 定期刊行物(その他)
「施設のイベント」、ひろしま市民と市政、9/1号、6ページ
「ART」、くれえばん、10月号、63ページ
平和文化月間、11月号
「ひろしまインフォメーション」、タウン情報ひろしま、11月号、66ページ

- ラジオ
「You Gotta Radio」、FMおのみち、8月27日、笹野摩耶
- WEB
「イベント」、ひろしま公式観光サイト「Dive!Hiroshima」、8月24日
「EXHIBITIONS」、美術手帖、8月24日
「フォトレポート」、ART iT、12月27日

出品目録

No.	作家名/Artist	作品名/Title	制作年	技法・材質	寸法(cm)・上映時間	備考
A-1 作家とスタイル						
1	横尾 忠則 YOKOO Tadanori	葬列 I Funeral Procession I	1969-1985	シルクスクリーン・アクリル板	74.5×114×10.5	
2	横尾 忠則 YOKOO Tadanori	葬列 II Funeral Procession II	1969-1985	シルクスクリーン・アクリル板	74.9×114×10.5	

出品目録

No.	作家名/Artist	作品名/Title	制作年	技法・材質	寸法(cm)・上映時間	備考
3	アンディ・ウォーホル Andy WARHOL	花 Flowers	1975	毛織物	213×211.4	
4	クリスト CHRISTO	パリのためのプロジェクト 梱包されたポン・ヌフ The Pont Neuf Wrapped: Project for Paris	1984	鉛筆、木炭、クレヨン、バス・テル紙、地図	144.6×165	
5	河原温 KAWARA On	SEPT.8,1984 Today シリーズ(1966-2013)より SEPT. 8, 1984 from Today series (1966-2013)	1984	アクリル・キャンバス	115×226	
6	阿部 展也 ABE Nobuya	作品一ROMA Work-ROMA	1963	エンコステック板	146×114	
7	たべ けんぞう TABE Kenzo	マグネティック フィールド E-5 MAGNETIC FIELD E-5	1993	ミクストメディア	60×150×150	
8	杉浦 邦恵 SUGIURA Kunie	草間彌生Ap(アーティストの書類) Yayoi Kusama Ap, from the series "The Artist Papers"	2003	ゼラチン・シルバー・プリント	73.5×98	国際交流基金より寄託
9	杉浦 邦恵 SUGIURA Kunie	村上隆B(アーティストの書類) Takashi Murakami B, from the series "The Artist Papers"	2003	ゼラチン・シルバー・プリント	200×150	国際交流基金より寄託
10	サム・フランシス Sam FRANCIS	SFP88-233 SFP88-233	1988	アクリル・キャンバス	183×305	
11	岡崎 乾二郎 OKAZAKI Kenjiro	枝の振動が伝わり、幹の裂ける音が聞こえ、木と木の間に煙々と、煙と炎が進んできたとしても、植物に逃げる足はなく、微塵のように灰に降っても、防ぐ手だてもありません。きっと肚にすえかねることだってあるでしょう。ために聴診器を幹にあててみれば、ごとごと、ごうごう空おそろしい騒音が響いている。森全体が怒っている、正直な気持ち。 <i>Even when plants feel the vibration of the branches and hear the sound a tree trunk tearing, or smoke and flame approaching them easily in the trees, they aren't able to run away. When ashes like dust come down, they don't have a means of protecting themselves. There must be cases where they cannot tolerate certain matter. From a tree trunk you can hear a roaring or a rattling sound through a stethoscope. The whole woods are angry with a straight forward feeling.</i>	2004	アクリル・キャンバス	200×144.5	2点組(右)
12	岡崎 乾二郎 OKAZAKI Kenjiro	木という木がいま、自分の話に耳を傾けているような錯覚がします。ひとたび地表に根をおろせば、植物は一生、住む土地を変えられないから、もっと安全な場所を見つけようなんて考えも浮かばないのです。だから羊歯の大きな葉と葉が揺れ、その間から物音が聞こえてきたとき、みんなも草の中に身をすくませたのです。木が生きている、その通りに。 <i>I have the illusion that all the trees are listening to me speak. Plants don't even think to seek a safer place to live, because throughout their lives they never move to another place after once taking root in the soil. That is why all of them hid themselves among the grasses when large leaves of a fern trembled and a sound comes through these leaves. And they did in just the same way a tree lives.</i>	2004	アクリル・キャンバス	200×144.5	2点組(左)
13	山本 圭吾 YAMAMOTO Keigo	Foot No.3 Foot No.3	1977	ビデオ(モノクロ、サイレント)	10'00"	
14	石内 都 ISHIUCHI Miyako	ひろしま #71 ひろしま/hiroshima #71	2007/2015	タイプCプリント	154×100	Donar: Hatamura, T. /作家より寄贈/10月20日までの展示
A-2 保存・残すこと						
15	吉原 治良 YOSHIHARA Jiro	コンポジション 53 COMPOSITION 53	1957	油彩・キャンバス	162.6×130	
16	吉原治良(コンポジション 53)修復関連資料 Restoration of Yoshihara Jiro, COMPOSITION 53, related material					
17	中井 恒夫 NAKAI Tsuneo	新生 Cenozoic	1989	TV、ビデオ、ネオン、鉄板、発光体、カラー金属板、他	200×180×145	
18	かつて使用されていた中井恒夫(新生)のVHSとビデオデッキ VHS and video player of Nakai Tsuneo, Cenozoic used in past					
19	川俣 正 KAWAMATA Tadashi	"比燕荘"京都1988 Hien-so Kyoto 1988	1986-1991	鉛筆、ベニヤ板、木片	45×122×149	
20	川俣 正 KAWAMATA Tadashi	"比燕荘"京都1988 Hien-so Kyoto 1988	1986-1991	鉛筆、シナベニヤ、パルサ材	175×244×26	
21	川俣 正 KAWAMATA Tadashi	"比燕荘"京都1988 Hien-so Kyoto 1988	1986-1991	写真、木製パネル	103×145.5	
22	川俣 正 KAWAMATA Tadashi	"比燕荘"京都1988 Hien-so Kyoto 1988	1986-1991	写真、ガラス	62×85×1.5	
23	川俣 正 KAWAMATA Tadashi	"比燕荘"京都1988 Hien-so Kyoto 1988	1986-1991	インク、鉛筆、紙	62×85×1.5	
24	田中 功起 TANAKA Koki	Everything is Everything Everything is Everything	2005-2006	ミクストメディア	サイズ可変	
25	田中 功起 TANAKA Koki	拡張されたアーカイヴ Everything is Everythingの場合 Expanded Archive: Case of Everything is Everything	2023	行為、映像記録	28'28"	

出品目録

No.	作家名/Artist	作品名/Title	制作年	技法・材質	寸法 (cm)・上映時間	備考
26	竹村 京 TAKEMURA Kei	修復された誕生仏像1 <i>Renovated: Birth Buddha 1</i>	2022	誕生仏像、合成繊維、金糸	14.8×5.5×3.2	牧寛之氏より寄贈
27	竹村 京 TAKEMURA Kei	修復された誕生仏像2 <i>Renovated: Birth Buddha 2</i>	2022	誕生仏像、合成繊維、金糸	16×5.5×4.5	牧寛之氏より寄贈
28	竹村 京 TAKEMURA Kei	修復された誕生仏像3 <i>Renovated: Birth Buddha 3</i>	2022	誕生仏像、合成繊維、金糸	14.7×5×3	牧寛之氏より寄贈
29	竹村 京 TAKEMURA Kei	修復されたH.MoCAのVHSビデオカセットレコーダー <i>Renovated: H.MoCA's VHS Videocassette Recorder</i>	2023	H.MoCAのVHSビデオカセットレコーダー、合成繊維、群馬産蛍光シルク	12×44.6×47	牧寛之氏より寄贈
30	竹村 京 TAKEMURA Kei	修復されたH.MoCAのBetamaxビデオカセットレコーダー <i>Renovated: H.MoCA's Betamax Videocassette Recorder</i>	2023	H.MoCAのBetamaxビデオカセットレコーダー、合成繊維、群馬産蛍光シルク	10.4×45×43	牧寛之氏より寄贈
31	竹村 京 TAKEMURA Kei	修復されたH.MoCAのハロゲンランプ (ピンク) <i>Renovated: H.MoCA's Halogen Lamp, pink</i>	2022	H.MoCAのハロゲンランプ、合成繊維、群馬産蛍光シルク	6.8×1.8×1.8	牧寛之氏より寄贈
32	竹村 京 TAKEMURA Kei	修復されたH.MoCAの電球 <i>Renovated: H.MoCA's Light Bulb</i>	2022	H.MoCAの電球、合成繊維、群馬産蛍光シルク	7×12.5×7	牧寛之氏より寄贈
A-3 広島/ヒロシマ						
33	山本 正道 YAMAMOTO Masamichi	時を眺めて <i>Gazing at the Time</i>	1997	ブロンズ、木に蒔絵	24×381×51.5	
34	圓錐 元規 ENTSUBA Motonori	望 <i>Hope</i>	1987	ブロンズ	208.6×138×94	
35	ナンシー スペロ Nancy SPERO	死の灰 (原子の灰) <i>Atomic Ash</i>	1995	ハンドプリント、コラージュ、紙	46×370	
36	オノ・ヨーコ ONO Yoko	HAKO (ハコ) <i>HAKO</i>	1995	エナメルで彩色されたブロンズ、ガラス、テキスト	サイズ可変	
37	村井 正誠 MURAI Masanari	たくまじき人々 <i>Sturdy People</i>	1988	油彩・キャンバス	194.3×259.2	
38	本田 克己 HONDA Katsumi	黒い雨 <i>Black Rain</i>	1955	油彩・合板	122.7×197.5	
39	殿敷 侃 TONOSHIKI Tadashi	は 2 <i>Teeth 2</i>	1970	油彩・キャンバス	162.1×130.8	
40	殿敷 侃 TONOSHIKI Tadashi	〈山口—日本海—二位ノ浜 お好み焼き〉関連資料 <i>Yamaguchi-Nihonkai-Niinohama, Okonomiyaki, related material</i>	1987	焼き固めたプラスチック類	120×190×190	天野紋子氏より寄贈
41	松本 英一郎 MATSUMOTO Eiichiro	さくら—ヒロシマ <i>Cherry Tree-Hiroshima</i>	1988	油彩・キャンバス	193.6×259.2	
42	若林 奮 WAKABAYASHI Isamu	DOME <i>DOME</i>	1988	鉄	360×42.5×220	
43	若林 奮 WAKABAYASHI Isamu	水鏡 <i>Water Mirror</i>	1997	鉄	28×361×180	
44	フィリップ・キング Phillip KING	ヒロシマのための記念碑 <i>Monument for Hiroshima</i>	1987-1988	鋼鉄	176×114×68.5	
45	丁 昌燮 (チュン・チャンスブ) CHUNG Chang-Sup	楮 (Tak) NO.87015 <i>Paper Mulberry No.87015</i>	1987	繊維・キャンバス	227.8×162.2	
46	島 州一 SHIMA Kunichi	ヒロシマの軌跡 1988 <i>TRACE HIROSHIMA 1988</i>	1988	ミクストメディア	109.6×129.7×22.2	
47	白髪 一雄 SHIRAGA Kazuo	暗黒 <i>Darkness</i>	1995	油彩・キャンバス	181.5×227	
48	芥川 永 AKUTAGAWA Hisashi	教師と子どもの碑原型 <i>Model for Monument for Teacher and Student</i>	1971	ブロンズ	45×21×17	
49	山本 富章 YAMAMOTO Tomiaki	For HIROSHIMA <i>For HIROSHIMA</i>	1995	ミクストメディア	187.8×182.5	
A-4 出口 〈アーチ〉のメンテナンス						
50		ヘンリー・ムーア〈アーチ〉修復関連資料 <i>Maintenance of Henry Moor, The Arch, related materials</i>				
A-4 リレーションズ:中西紗和						
51	ジョージ・セガル George SEGAL	白い籐椅子の女 <i>Woman in White Wicker Chair</i>	1982	石膏、藤	114.3×94×132	

出品目録

No.	作家名/Artist	作品名/Title	制作年	技法・材質	寸法 (cm)・上映時間	備考
52	淀井 敏夫 YODOI Toshio	〈夏の雲〉石膏原型 <i>Summer Cloud</i>	1956	石膏、漆、木	216×86×40	
53	アルベルト・ジャコメッティ Alberto GIACOMETTI	男の胸像 <i>Bust of a Man</i>	1950	ブロンズ	55.2×14.2×15.8	
54	アルナルド・ポモドーロ Arnaldo POMODORO	光の槍 <i>Spear of Light</i>	1985	ブロンズ	319.5×46×40	
55	ジャン・アルプ Jean ARP	プロフィール <i>Profile</i>	1955	ブロンズ	31×13.5×19	
56	クルト・シュヴィッターズ Kurt SCHWITTERS	小犬 <i>Little Dog</i>	1943-1944	ニッケルシルバー	41.9×21×17	
57	井上 武吉 INOUE Bukichi	溢れる NO.1 <i>Full No.1</i>	1978	ブロンズ	13×16.5×16	
58	三木 富雄 MIKI Tomio	耳 <i>Ear</i>	1965	アルミニウム	44.5×25×9.5	
59	三木 富雄 MIKI Tomio	耳 <i>Ear</i>	1969	アルミニウム	30×22×8.5	
61	三木 富雄 MIKI Tomio	耳 <i>Ear</i>	1972	アルミニウム	41×26×8	
62	ヘンリー・ムーア Henry MOORE	大きなトルソ: アーチのためのマケット <i>Maquette for Large Torso: Arch</i>	1962/1971	ブロンズ	9.6×7×5.5	
63	ヘンリー・ムーア Henry MOORE	二つに分れた彫刻No.10: 結合のためのマケット <i>Maquette for Two Piece Sculpture No.10 Inter Locking</i>	1968/1984	ブロンズ	5×9×5.5	
64	ヘンリー・ムーア Henry MOORE	二つに分れた彫刻No.11のためのマケット <i>Maquette for Two Piece Sculpture No.11</i>	1968	ブロンズ	6.5×9×5.5	
65	ヘンリー・ムーア Henry MOORE	帽子をかぶった女性立像 <i>Standing Woman: Bonnet</i>	1975	ブロンズ	18×7×4.5	
66	ヘンリー・ムーア Henry MOORE	三つの直立したモチーフ <i>Three Upright Motives</i>	1977	ブロンズ	21×20.5×12.5	
67	ヘンリー・ムーア Henry MOORE	カーヴィングのためのマケット <i>Maquette for Carving</i>	1983	ブロンズ	5.2×10.2×3.4	
68	ヘンリー・ムーア Henry MOORE	女のトルソー <i>Female Torso</i>	1984	ブロンズ	15×5.6×5	
—中西紗和 鑄造工程に関する資料						
69	中西紗和 NAKANISHI Sawa	鑄造工程に関する資料 <i>Materials related to the casting process</i>		道具、炉、ワックス、ビデオ等		作家蔵
70	中西紗和 NAKANISHI Sawa	情緒の体操 <i>Emotional Exercise</i>	2024	砂、ブロンズ 等		作家蔵
—中西紗和 ブロンズと生活のあいだ						
71	中西紗和 NAKANISHI Sawa	日用品シリーズ <i>Everyday Items series</i>	2011-2021	ブロンズ		作家蔵
72	中西紗和 NAKANISHI Sawa	いきものシリーズ <i>Living Things series</i>	2010-2016	ブロンズ		作家蔵
73	中西紗和 NAKANISHI Sawa	たこ <i>Octopus</i>	2010	ブロンズ	3×7×8	個人蔵
74	中西紗和 NAKANISHI Sawa	べろいぬ—上目遣い— <i>Beroinu-upturned eyes-</i>	2016	ブロンズ	3.5×10.6×5.2	作家蔵
75	中西紗和 NAKANISHI Sawa	べろいぬ—緊張感— <i>Beroinu-tension-</i>	2016	ブロンズ	6×12×5	作家蔵
76	中西紗和 NAKANISHI Sawa	べろいぬ—拒否— <i>Beroinu-rejection-</i>	2016	ブロンズ	7×5×5	作家蔵
77	中西紗和 NAKANISHI Sawa	べろいぬ <i>Beroinu</i>	2016	ブロンズ	6.5×10.5×4	作家蔵
78	中西紗和 NAKANISHI Sawa	みみねこ—遊ぶ— <i>Mimineko-play-</i>	2016	ブロンズ	3.5×7×4.5	作家蔵
79	中西紗和 NAKANISHI Sawa	みみねこ—威嚇— <i>Mimineko-hiss-</i>	2016	ブロンズ	1.9×9×4	作家蔵

出品目録

No.	作家名/Artist	作品名/Title	制作年	技法・材質	寸法(cm)・上映時間	備考
80	中西紗和 NAKANISHI Sawa	はんげんー休日ー <i>Hangen-holiday-</i>	2010	ブロンズ	7×10×5	作家蔵
81	中西紗和 NAKANISHI Sawa	カラオケボックス <i>Karaoke Box</i>	2017	ブロンズ、ワックス、布、石等	19.5×20×7	作家蔵
82	中西紗和 NAKANISHI Sawa	アグニ <i>Agni</i>	2019	ブロンズ、セメント	10×19×19	作家蔵
83	中西紗和 NAKANISHI Sawa	像 <i>Statue</i>	2024	ブロンズ、ワックス	20×4×6.5	作家蔵
84	中西紗和 NAKANISHI Sawa	試合を始めない選手 <i>Player Who Do not Start the Game</i>	2019	ブロンズ、ワックス	2×28×40	作家蔵
85	中西紗和 NAKANISHI Sawa	内密 <i>Secret</i>	2024	ブロンズ、石膏、麻布	11×12×12	作家蔵
86	中西紗和 NAKANISHI Sawa	間に溶け込むものたち <i>Things that Blend in Between</i>	2009-2024	ブロンズ、ワックス、木		作家蔵
87	中西紗和 NAKANISHI Sawa	話の起こり <i>The Bgining of the Story</i>	2024	ワックス、布		作家蔵
88	中西紗和 NAKANISHI Sawa	in fuse-in ward <i>in fuse - in ward</i>	2013/2024	ブロンズ、ワックス	70×60×140	作家蔵
89	中西紗和 NAKANISHI Sawa	みる・みえない、みている <i>Seeing, Not Seeing and Watching</i>	2024	アルミ	42.5×29	作家蔵
90	中西紗和 NAKANISHI Sawa	uh <i>uh</i>	2011/2024	ブロンズ、広島市現代美術館で溶かしたワックス	サイズ可変	作家蔵

コレクション展2024-Ⅲ

ハイライト＋リレーションズ [ゲストアーティスト:西島大介]

Collection Exhibition 2024-Ⅲ
Highlights + Relations [Guest Artist: Nishijima Daisuke]



会 期 12月21日(土)～2025年4月6日(日)
 会 場 A展示室
 観 覧 料 一般350円(250円)、大学生250円(150円)、高校生・65歳以上150円(100円)、中学生以下無料
 ※()内は30名以上の団体料金
 割 引 【ハロー!コレクションデー】毎月第3日曜日:コレクション展無料
 担 当 川上真由子、笹野摩耶、松岡剛
 入場者数 11,727人

内 容 本展では、当館コレクションの特質に触れるとともに、関連するテーマに沿った内容の展示を合わせて紹介した。第1室から第3室にかけては「ハイライト」として、それぞれの部屋に添えられたキーワードを通して収蔵作品を展示し、第4室は「リレーションズ」と題し、展示内容をコレクションに限定せず、当館の収集方針や収集された作品、あるいは、広島という地域などと関連したコレクション展示の延長線上に位置付けられる企画を実施した。本展では漫画家であり現代美術家としても活躍する西島大介をゲストアーティストに迎え、「キャラクターの展開図」と題し、西島が手がけてきたキャラクターの世界を展観した。

関連イベント

- 12月22日(日) 「アーティストトーク～「アートのきざし」を探しに～」西島大介[50人]
- 2月2日(日) 「シノビーがやってくる!」[96人]
- 2月2日(日)、2月23日(日)、3月9日(日)、3月23日(日)、4月6日(日) 「西島大介最新キャラクターおひろめ!」[680人]
- 4月5日(土) 「こどもゲームじゃむ～作る・遊ぶ・配信する～」西島大介[30人]

※[]内は参加者数

パブリシティ

- 新聞
 「「アートのきざし」探して」、読売新聞、1月12日、24面
 「シノビー収蔵品展PR」、読売新聞、2月14日、28面
 「疑問や批判 愛らしさの中に」、中国新聞、4月2日、11面、渡辺敬子
- 定期刊行物(雑誌)
 SFマガジン、4月号、1ページ
- 定期刊行物(その他)
 「施設のイベント」、ひろしま市民と市政、1/1号、6ページ
 「ART」、くれえばん、2月号、72ページ

- テレビ
 「元就。二百万一心!」、中国放送、1月25日
 「テレビ派」、広島テレビ、2月3日
 「シノビーと、よふかし。」、読売テレビ、3月8日
- WEB
 「ニュース」、Fashion Press、12月17日
 「EXHIBITIONS」、美術手帖、12月21日
 「イベント」、ひろしま公式観光サイト「Dive! Hiroshima」、12月21日
 「イベント」、ArtSticker、12月21日
 「【広島さんぽ】シノビー美術館 開館!?広島テレビに生出演!?」、シノビーの、おへや、YouTubeチャンネル、3月7日

出品目録

No.	作家名/Artist	作品名/Title	制作年	技法・材質	寸法 (cm)・上映時間	備考
A-1 表象と身体						
1	ヘンリー・ムーア MOORE Henry	《ストーンヘンジXIII 腕と胴体》 Stonehenge XIII Arm and Body	1973	リトグラフ・紙	29.0×45.3	
2	恩地 孝四郎 ONCHI Koshiro	《人体考察(髪)》 Study of the Human Body (Hair)	1927	木版・紙	39.6×31.4	
3	利根山 光人 TONEYAMA Kojin	《いれずみ》 Tattoo	1956	油彩・キャンバス	91.2×116.8	
4	鯉 暁 Ay-O	《現代人》 The Moderns	1954	油彩・板	92×113.5	
5	フランシス・ベーコン Francis BACON	《トリプティック1974-77》 Triptych 1974-77	1981	リトグラフ・紙	38.8×93.8	
6	菅井 汲 SUGAI Kumi	《アダムとイブ(ヒロシマ)》 ADAM ET EVE(HIROSHIMA)	1988	アクリル・キャンバス	197.3×197.6	
7	ロバート ロンゴ Robert LONGO	《イン・ザ・シティーズ(エリックとグレッシェン)》 In the Cities: Eric and Grechen	1985	リトグラフ・紙	183.4×91.4	2点組
8	鷹野 隆大 TAKANO Ryudai	《"IN MY ROOM"より(長い髪がピンクの服にかかっている)》 Long hair nesting on pink cloth, from "IN MY ROOM"	2002	タイプCプリント	130.0×105.0	国際交流基金より寄託
9	鷹野 隆大 TAKANO Ryudai	《"IN MY ROOM"より(水色のGパンをはいてお尻を向けている)》 Wearing light blue jeans pants turning the butt, from "IN MY ROOM"	2002	タイプCプリント	130.0×105.0	国際交流基金より寄託
10	鷹野 隆大 TAKANO Ryudai	《"IN MY ROOM"より(模様の入った黒いストッキングをはいている)》 Wearing black stockings with patterns, from "IN MY ROOM"	2002	タイプCプリント	130.0×105.0	国際交流基金より寄託
11	高橋 秀 TAKAHASHI Shu	《ラン—金—》 Ran-Gold-	1976	アクリル・キャンバス	156.0×104.3	作家より寄託
12	高橋 秀 TAKAHASHI Shu	《ラン—赤—》 Ran-Red-	1976	アクリル・キャンバス	156.3×104.0	作家より寄託
13	澤田 知子 SAWADA Tomoko	《"cover"より》 From "cover"	2002	インクジェットプリント	90.0×215.0	国際交流基金より寄託
14	澤田 知子 SAWADA Tomoko	《"cover"より》 From "cover"	2002	インクジェットプリント	91.0×230.0	国際交流基金より寄託
15	イヴ・クライン KLEIN Yves	《ブルーのヴェーナス》 Venus Bleue	1970	顔料、合成樹脂・石膏	69.0×32.0×26.0	
16	チャールズ・ウォーゼン Charles WORTHEN	《Venus by the Sea》 Venus by the Sea	2013	木材 (Zydacのモデルに基づく)	110.0×62.0×53.0	作家より寄託
17	岡田 裕子 OKADA Hiroko	《未来図 #1》 Future Plan #1	2003	インクジェットプリント	102.0×140.5	国際交流基金より寄託
A-2 作家とスタイル						
18	桑山 忠明 KUWAYAMA Tadaaki	《赤、青》 Red, Blue	1965	アクリル・キャンバス、クローム、ストリップ	180.0×164.9	2点組
19	舟越 桂 FUNAKOSHI Katsura	《言葉の降る森》 Words Falling on Wood	1989	彩色・木、大理石	88.0×66.5×26.0	
20	鈴木 省三 SUZUKI Seizo	《そして前へ行く》 And Proceed Forward	2004-2005	油彩・キャンバス	145×205	大川公一氏より寄託
21	小林 孝亘 KOBAYASHI Takanobu	《Gate》 Gate	1997-1998	油彩・キャンバス	285.0×400.0	
22	李 禹煥 LEE Ufan	《線より#80066》 From Line #80066	1980	岩彩・キャンバス	181.4×227.3	
23	李 禹煥 LEE Ufan	《風と共に—ヒロシマ》 With Winds:Hiroshima	1988	岩彩・キャンバス	227.4×181.6	作家より寄託
24	川久保 ジョイ KAWAKUBO Yoi	《The New Clear Age》 The New Clear Age	2011-	ビグメントプリント、フレーム、インク紙	122.0×155.0	作家より寄託 左から(Fukushima Daini) (2014)、(Mihama) (2011)、(Monju) (2011)、(Shimane) (2015) From left to right: Fukushima Daini, 2014, Mihama, 2011, Monju, 2011, Shimane, 2015
25	鳴 剛 SHIGI Gou	《無題 G》 Untitled G	1982	アクリル・キャンバス	182.0×227.3	

出品目録

No.	作家名/Artist	作品名/Title	制作年	技法・材質	寸法 (cm)・上映時間	備考
26	アレクサンダー・カルダー Alexander CALDER	《遭遇》 Encounter	1965	彩色・金属板	137.0×391.0×140.0	
27	三宅 一生 MIYAKE Issey	《プラスチック・ボディ》 Plastic Body	1980/1994	樹脂成型、ウレタン塗装仕上げ	37.0×33.0×20.0	
28	三宅 一生 MIYAKE Issey	《フライング・ソーサー》 Flying Saucer	1993/1994	フリーズ加工及び立体プレス加工、ポリエステル	14.5×48.0×38.0	
A-3 広島/ヒロシマ						
29	殿敷 侃 TONOSHIKI Tadashi	《自画像の風景》 Self-Portrait with Landscape	1975	油彩・キャンバス	116.3×91.0	
30	殿敷 侃 TONOSHIKI Tadashi	《釋妙昭信女(ポーシ)》 Shakumyoshoshin-nyo(Hat)	1978	油彩・キャンバス	45.5×53	十二代三休雪氏より寄託
31	松谷 武判 MATSUTANI Takesada	《ヒロシマ-88》 Hiroshima-88	1987	鉛筆・紙	149.9×109.6	作家より寄託
32	野見山 暁治 NOMIYAMA Gyoji	《太田川》 Ota River	1988	油彩・キャンバス	162.5×194.6	
33	村上 善男 MURAKAMI Yoshio	《廣嶋國泰寺町に雪降らせて(赤)》 I Bless It Will Snow in Kokutaji-Cho,Hiroshima(Red)	1988	油彩、墨、紙、布・キャンバス	227.5×182.0	
34	村上 善男 MURAKAMI Yoshio	《廣嶋國泰寺町に雪降らせて(白)》 I Bless It Will Snow in Kokutaji-Cho,Hiroshima(White)	1988	油彩、墨、紙・キャンバス	227.5×181.8	
35	オノ ヨーコ ONO Yoko	《夢》 Dream	2012	墨・紙	209.8×150.0	作家より寄託
36	北辻 良央 KITATSUJI Yoshihisa	《ヒロシマ》 HIROSHIMA	1996	ブロンズ、陶、木 / 鉛筆、紙、ブロンズ、牡蠣殻、木、鉄、ブリキ箱	332.5×195.0×202.0	
37	若林 審 WAKABAYASHI Isamu	《ドーム》 DOME	1988	鉄	360×425×220	
38	若林 審 WAKABAYASHI Isamu	《水鏡》 Water Mirror	1997	鉄	28×361×180	
39	利根山 光人 TONEYAMA Kojin	《ドーム》 Dome	1959	油彩・キャンバス	24.2×33.2	作家より寄託
40	ヤノベ ケンジ YANOBE Kenji	《Contaminated Atom Suit》 Contaminated Atom Suit	1997	鉛、鉄、ガイガーカウンター、プラスチック、ストロボライト他	240.0×110.0×100.0	
41	小沢 剛 OZAWA Tsuyoshi	《ベジタブル・ウェポン・スペシャル-牡蠣の水炊き鍋、とろとろ湯豆腐、美酒(びしょ)鍋/広島》 Vegetable Weapon Special-oyster pot,runny simmered tofusake pot/ Hiroshima	2005	スーパーレーザープリント・紙・パネル	200.0×300.0	
42	椿 昇 TSUBAKI Noboru	《ラブ・リバウンド》 Love Rebound	1996	鉄、FRPに油彩	271.5×560.0×225.0	
43	高嶺 格 TAKAMINE Tadasu	《大東亜レインボー》 Rainbow of Greater East Asia	2006	毛織物	240.5×358	
44	アラン・グリーン Alan GREEN	《ヒロシマのための灰色と赤》 Grey and Red for Hiroshima	1986-1987	油彩・キャンバス	250.0×161.3	2点組
45	殿敷 侃 TONOSHIKI Tadashi	《山口-日本海-二位ノ浜 お好み焼き》関連資料 Yamaguchi-Nihonkai-Niinohama, Okonomiyaki, related material	1987	焼き固めたプラスチック類	120.0×190.0×190.0	天野敏子氏より寄託
A-4 西島大介 キャラクターの展開図						
46	西島 大介 NISHIJIMA Daisuke	《生きどしいけるもの》 All Living Things	2016			
47	西島 大介 NISHIJIMA Daisuke	《秋葉原ネオグラフィティ/スーパーディアガール》 AKIHABARA Neo Graffiti Super Dear Girl	2011			photo by shiorikawamoto
48	西島 大介 NISHIJIMA Daisuke	《キャラクターの展開図》 Character Development	2024			
49	西島 大介 NISHIJIMA Daisuke	《サトシ・ナカモトの肖像》 Portrait of Satoshi Nakamoto	2020			
50	西島 大介 NISHIJIMA Daisuke	《マンガっち》 Manga-chi	2005			
51	西島 大介 NISHIJIMA Daisuke	《スペースインベーディアン》 SPACE INVADIANS	2024			篠体協力吉田伸一郎

出品目録

No.	作家名/Artist	作品名/Title	制作年	技法・材質	寸法 (cm)・上映時間	備考
52	西島 大介 NISHIJIMA Daisuke	《スペースインベーディアン2 マヤ》 SPACE INVADIANS2 MAYA	2024			
53	西島 大介 NISHIJIMA Daisuke	《すしネーター》 SUSHI-NATOR	2023			
54	西島 大介 NISHIJIMA Daisuke	むだいさん Mudai-San	2020			
55	西島 大介 NISHIJIMA Daisuke	《むだいさんアドベンチャー》 Mudai-San Adventure	2024			
56	西島 大介 NISHIJIMA Daisuke	《月間ビュフェくん》 Monthly Buffet-Kun	2018			
57	西島 大介 NISHIJIMA Daisuke	《のぼれ!すずめ!高い塔》 Nobore! Susume! Takai Tou	2016			
58	西島 大介 NISHIJIMA Daisuke	《サーフィン・オン・サイン・ウェーブ》 Surfing on Sign Waves	2001			
59	西島 大介 NISHIJIMA Daisuke	《無題》 Untitled	2005			
60	西島 大介 NISHIJIMA Daisuke	《ディエンビエンフー》 Dien Bien Phu	2005-2018			
61	西島 大介 NISHIJIMA Daisuke	《ザーロン帝の杖》 The Wand of Emperor Gia Long	2018			
62	西島 大介 NISHIJIMA Daisuke	シンビー&ニン丸 Shinoby & Ninmaru	2018			©ytv
63	西島 大介 NISHIJIMA Daisuke	《ぼうや》 BOY	2017			
64	西島 大介 NISHIJIMA Daisuke	《フンくんさんぽ。～マンガのまちのだいぼうけん～》 Hung-Kung Walking	2024			
65	西島 大介 NISHIJIMA Daisuke	《スペースインベーディアン:アース&スペース》 SPACE INVADIANS: EARTH AND SPACE	2024			
66	西島 大介 NISHIJIMA Daisuke	《むだいさんアドベンチャー》 Mudai-San Adventure	2024			

オープン・プログラム

Open
Programs

《≡会田誠～無気力大陸～》上映

Screening: Near Equal Aida Makoto



会期 2024年6月5日(水)～8月12日(月・休)
会場 メディアライブラリー
観覧料 無料
主催 広島市現代美術館
担当 川上真由子
入場者数 1,842人

内容 「コレクション展2024-I」に出品されていた会田誠《人(hito: human being)PROJECT》。その制作風景をはじめとした会田の活動の軌跡を中心に、プライベートも含めた200時間以上に及ぶ映像を厳選して構成された密着ドキュメント《≡会田誠～無気力大陸～》を上映した。あわせて、同コレクション展に関連する図録や書籍などを展示、紹介。作家や作品、展覧会への理解を深める機会となった。

上映作品 《≡会田誠～無気力大陸～》
撮影・編集・監督:玉利祐助
制作総指揮:榎本寛治
プロデューサー:河合伴明
整音:鈴木昭彦
製作・配給:ピー・ビー・ビー株式会社
2003年/デジタルビデオ/カラー/98分

山村浩二アニメーション＋ 《山村浩二作品集》上映

YAMAMURA Koji Animation +, Screening: Koji Yamamura Film Works



会期 2024年8月14日(水)～9月29日(日)
会場 メディアライブラリー
観覧料 無料
主催 広島市現代美術館
担当 川上真由子
入場者数 1,169人

内容 ひろしまアニメーションシーズン2024(8月14日～18日)の開催に合わせ、アーティストック・ディレクターを務める山村浩二のアニメーション作品《山村浩二作品集》の上映と共に、山村が手掛けたクレイアニメのための粘土造形および山村をはじめとするアーティストが携わっている絵本を紹介。子供だけでなく大人も楽しめるアニメーションや絵本の世界を俯瞰するものとなった。

上映作品 《山村浩二作品集》
監督:山村浩二
2003年/カラー/84分

ミーティングポイント — 出会う、知る、交換する —

Meeting Point: Encounter, Get to Know, Exchange



オープン・プログラム
ミーティングポイント
— 出会う、知る、交換する —
2024.9.21 SAT - 11.4 MON 入場無料 ADMISSION FREE

関連事業

9月21日(土)～11月4日(月)
THINGSTIGATE「Butsu-Butsu Ko-kan(物々交換)」
(協力:The University of Gothenburg and the European Research Council/'Thingstigate') [約195人]
10月19日(土) スクリーニング&ダイアログ「私たちは歌で語る」(協力:Visual Documentary Project(VDP)) [8人]
10月20日(日) サンデースクリーニング「アクト・オブ・キリング」(配給:トランスフォーマー) [28人]
10月27日(日) サンデースクリーニング「ルック・オブ・サイレンス」(配給:トランスフォーマー) [32人]
11月2日(土) スクリーニング&ダイアログ「私たちは歌で語る」(協力:Visual Documentary Project(VDP)) [6人]
※[]内は参加者数

会期 2024年9月21日(土)～2024年11月4日(月・休)
会場 展示室B-3
観覧料 無料
主催 広島市現代美術館
協力 The University of Gothenburg, Swedish Research Council/'Protocols of Killing: 1965, distance, and the ethics of future warfare', and the European Research Council/'Thingstigate'
担当 角奈緒子、笹野摩耶、川上真由子
入場者数 4,192人

内容 特別展「ティンティン・ウリア:共通するものごと」の開催にあわせて実施。ウリアの芸術的活動の背景には、母国インドネシアでの社会的動乱に巻き込まれた家族の経験、家族によって語られることで継承されていく記憶、あるいは集合的記憶、トラウマ、民族的マイノリティという出自などが看取される。こうした背景を理解するため、本プログラムを通してインドネシア近代化の歴史や、1965-66年の大虐殺について学ぶ機会を設けた。インドネシアやウリアの作品に関する書籍を配架した「リーディングエリア」、ウリアが過去に発表した各種映像資料や、記憶の継承を考察する機会となるような映像を上映する「映像スクリーニングエリア」を設け、その内容についてディスカッションする参加型イベントも開催した。さらに、ウリアがこれまでに多様な領域の人々と協働した活動の一端を示すものとして、研究プロジェクト「THINGSTIGATE」とリサーチ・リレー・コレクティブ「1965 Setiap Hari」を紹介した。私たちの身の回りにあるありふれたものごと(common thing)がどのように「共通するものごと(things-in-common)」となり得るのか、という調査研究を行うTHINGSTIGATEは、様々な人たちが所有する日用品などのオブジェクト(もの)を通して、それらにまつわる記憶や体験を交換する参加型プロジェクト「Butsu-Butsu Ko-kan(物々交換)」を会期中に実施した。また、1965-66年のインドネシア大虐殺をめぐる複雑な物語をリサーチ・シェア・カブすることを目的に発足した「1965 Setiap Hari」は、メンバーのひとりである写真家が作品を展示した。本プログラムは、来場者が自由に学び、知り、考え、意見を交換することで、自発的な行動へとつながっていくような、ラーニングの機能を備えた空間となった。

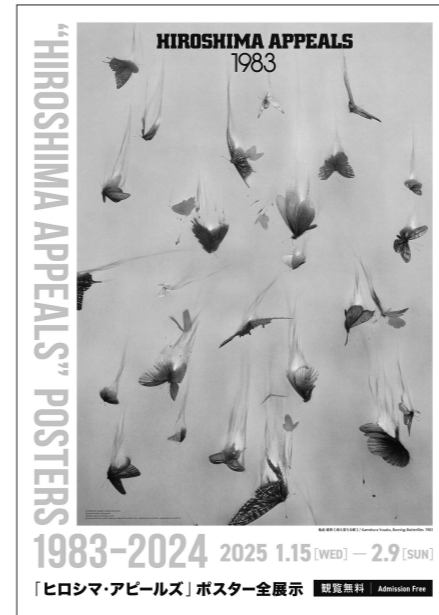
記録集 『「ミーティングポイント—出会う、知る、交換する—」記録集』
(Webでのpdf公開)
発行:広島市現代美術館
発行年:2025年3月
総頁数:21ページ

出品目録

作家名/Artist	作品名/Title	制作年	技法・材質	上映時間	備考
THINGSTIGATEエリア					
Thingstigate	Butsu-Butsu Ko-kan(物々交換)	2024			2024年9月21日～11月4日に参加型プロジェクトとして実施
1965 Setiap Hariエリア					
ランガ・ブルバヤ Rangga Purbaya	《亡くなった左派のひとびと The Landscape of Deception Seriesより》 The Departed Leftist from The Landscape of Deception Series	2017	写真用紙にアーカイブルインク ジェットプリント		作家蔵
ランガ・ブルバヤ Rangga Purbaya	《沈黙の海岸 The Landscape of Deception Seriesより》 The Shore of Silence from The Landscape of Deception Series	2017	写真用紙にアーカイブルインク ジェットプリント		作家蔵
ランガ・ブルバヤ Rangga Purbaya	《粛清の余韻 The Landscape of Deception Seriesより》 Echoes of the Purge from The Landscape of Deception Series	2017	写真用紙にアーカイブルインク ジェットプリント		作家蔵
ランガ・ブルバヤ Rangga Purbaya	《黄金湖 The Landscape of Deception Seriesより》 Golden Lake from The Landscape of Deception Series	2018	写真用紙にアーカイブルインク ジェットプリント		作家蔵
ランガ・ブルバヤ Rangga Purbaya	《静かな水域一救われない労働者たち The Landscape of Deception Seriesより》 Silent Waters: Labors of the Damned from The Landscape of Deception Series	2018	写真用紙にアーカイブルインク ジェットプリント		作家蔵
ランガ・ブルバヤ Rangga Purbaya	《コクロの影—悲鳴の消えた場所 The Landscape of Deception Seriesより》 Cokro's Shadows: Where Screams Went Unheard from The Landscape of Deception Series	2023	写真用紙にアーカイブルインク ジェットプリント		作家蔵
ランガ・ブルバヤ Rangga Purbaya	《帰らざる橋 The Landscape of Deception Seriesより》 Bridge of No Return from The Landscape of Deception Series	2023	写真用紙にアーカイブルインク ジェットプリント		作家蔵
ランガ・ブルバヤ Rangga Purbaya	《哀しみの川 The Landscape of Deception Seriesより》 River of Sorrows from The Landscape of Deception Series	2023	写真用紙にアーカイブルインク ジェットプリント		作家蔵
ランガ・ブルバヤ Rangga Purbaya	《チークのささやき—ゴゴランの隠された墓 The Landscape of Deception Seriesより》 Whispers in the Teak: The Hidden Graves of Grogolan from The Landscape of Deception Series	2024	写真用紙にアーカイブルインク ジェットプリント		作家蔵
ランガ・ブルバヤ Rangga Purbaya	《記憶の墓場 The Landscape of Deception Seriesより》 Cemetery of Memories from The Landscape of Deception Series	2024	写真用紙にアーカイブルインク ジェットプリント		作家蔵
ランガ・ブルバヤ Rangga Purbaya	《ジェゴンの忘れられた墓 The Landscape of Deception Seriesより》 Jegong's Forgotten Tombs from The Landscape of Deception Series	2024	写真用紙にアーカイブルインク ジェットプリント		作家蔵
ランガ・ブルバヤ Rangga Purbaya	The Landscape of Deception Seriesより(侵食される大地) The Eroding Earth from The Landscape of Deception from The Landscape of Deception Series	2024	写真用紙にアーカイブルインク ジェットプリント		作家蔵
ランガ・ブルバヤ Rangga Purbaya	《埃と記憶—ジェゴンの沈黙の証言 The Landscape of Deception Seriesより》 Dust and Remembrance: Jegong's Silent Testimony from The Landscape of Deception Series	2024	写真用紙にアーカイブルインク ジェットプリント		作家蔵
ウラン・ディルガントロ Wulan Dirgantoro	フィールド・ダイアリー Field Diary	2024	テキスト		
映像スクリーニングエリア					
	シンポジウム「1965年を生きる:美学、記憶、そして1965年 インドネシアの未来」記録 Symposium "Living 1965: Aesthetics, memory and the future of 1965 Indonesia"(2021, 61min) Convener: Wulan Dirgantoro, 1965 Setiap Hari	2021	ビデオ	61'00"	主催者:ウラン・ディルガントロ, 1965 Setiap Hari 登壇者:ティンティン・ウリア, ディアリタ合衆国 スタッフ:ランガ・ブルバヤ, インドスワリア・アグネス, キキ・モエヒタル, エレン・ファラント, ミカエル・ジョハニ
	「私たちは歌で語る」 Through Songs, We Share Stories	2018	ビデオ	24'00"	監督:ドニ・トロヘルフント 撮影・編集:アブル・アラマドゥドゥ・イルハムダ 制作国:インドネシア 著作:DAAI TV Indonesia 日本語字幕提供:京都大学東南アジア地域研究研究所 VDPプロジェクト 協力:Visual Documentary Project (VDP)
	「ひろしま」 HIROSHIMA	1953	ビデオ	104'00"	監督:朝川秀雄 原作:長田新「原爆の子」 脚本:八木保太郎 協力:井上・月丘映画財団
	ティンティン・ウリアによるレクチャーパフォーマンス「証拠としての舞踏:起源、帰属、所有権について」記録映像(2024年9月22日11時-12時, 広島市現代美術館 展示室B-3) Document video of the Lecture Performance by Tintin Wulia, Dance as Evidence: On Origin, Belonging and Ownership	2024	ビデオ	30'00"	撮影:織田幸正

「ヒロシマ・アピールズ」ポスター全展示

"Hiroshima Appeals" Posters 1983-2024



会期 2025年1月15日(水)～2月9日(日)
会場 広島市現代美術館 展示室B-1
観覧料 無料
主催 広島市現代美術館
協力 公益社団法人日本グラフィックデザイン協会、公益社団法人日本グラフィックデザイン協会 広島地区
担当 竹口浩司
入場者数 1,927人

内容 「ヒロシマ・アピールズ」ポスターは、「ヒロシマの心」を国内外に伝えていくために、グラフィックデザインによる新しい平和希求キャンペーンとして1983年に始まった。日本グラフィックデザイン協会(JAGDA)広島地区会員からの願いを受けた広島国際文化財団がJAGDA本部に企画を提案し、実現したという。当時のJAGDA会長、亀倉雄策氏による《燃え落ちる蝶》が最初の1枚として発表され、そのポスターは後に第6回ラハティ国際ポスタービエンナーレ(1985)で最高賞を受賞するなど、高い評価を受けた。その後も毎年JAGDA会員1名がボランティアで1点ずつ新しいポスターを制作し、ポスターは広島市長への贈呈のほか、1985年にスイス・ジュネーブでの米ソ首脳会談前に開かれた原爆資料展で紹介されるなど、海外でも反響を呼んだ。しかし1990年にいったん事業は休止、戦後60年にあたる2005年から再開された。現在は日本グラフィックデザイナー協会広島地区、広島国際文化財団、ヒロシマ平和創造基金の主催により実施され、平和市長会議の加盟都市への寄贈や2016年G7広島外相会合プレスセンターでの展示、2019年に広島を訪日したローマ教皇への寄贈など、海外に向けて平和を希求する心を発信しつづけている。被爆80周年となる2025年、その幕開けをこれまでの「ヒロシマ・アピールズ」ポスター全28枚の展示とともに迎えることで、いよいよ緊迫した世界情勢のなかで一人ひとりが平和について考えつづける大切さと、「核兵器のない世界」実現の切実さを伝えた。

パブリシティ

- 新聞 「「ヒロシマ・アピールズ」ポスター全28点展示」、中国新聞、1月29日、13面、木原由雄
- WEB 「イベント」、ひろしま公式観光サイト「Dive! Hiroshima」、1月18日

出品目録

No.	デザイナー/Designer	作品タイトル/Title	制作年	技法・材質	所蔵
1	亀倉雄策 Kamekura Yusaku	燃え落ちる蝶 Burning Butterflies	1983	オフセット印刷・紙	広島市現代美術館
2	粟津 潔 Awazu Kiyoshi	鳥たち A Diversity of Birds	1984	オフセット印刷・紙	広島市現代美術館
3	福田繁雄 Fukuda Shigeo	地球 The Earth	1985	オフセット印刷・紙	広島市現代美術館

出品目録

No.	デザイナー/Designer	作品タイトル/Title	制作年	技法・材質	所蔵
4	早川良雄 Hayakawa Yoshio	子供と鳩 Child with Dove	1986	オフセット印刷・紙	広島市現代美術館
5	永井一正 Nagai Kazumasa	閃光に砕ける翼 Serene Flight Shattering in A Single Flash	1987	オフセット印刷・紙	広島市現代美術館
6	田中一光 Tanaka Ikko	一羽の白い鳩 A Single White Dove	1988	オフセット印刷・紙	広島市現代美術館
7	勝井三雄 Katsui Mitsuo	ヒロシマの天空 The Vault of Hiroshima	1989	オフセット印刷・紙	広島市現代美術館
8	石岡瑛子 Ishioaka Eiko	X像の沈黙 The Silent Message of X	1990	オフセット印刷・紙	公益社団法人日本グラフィックデザイン協会
9	仲條正義 Nakajo Masayoshi	Give Peace a Chance Give Peace a Chance	2005	オフセット印刷・紙	公益社団法人日本グラフィックデザイン協会 広島地区
10	佐藤晃一 Sato Koichi	黄金の蝶 Golden Butterfly	2006	オフセット印刷・紙	公益社団法人日本グラフィックデザイン協会 広島地区
11	松永 真 Matsunaga Shin	NO MORE HIROSHIMA! NO MORE HIROSHIMA!	2007	オフセット印刷・紙	公益社団法人日本グラフィックデザイン協会 広島地区
12	青葉益輝 Aoba Masuteru	市民参加のスタンプポスター Citizen's Peace Stamp Poster	2008	オフセット印刷・紙	公益社団法人日本グラフィックデザイン協会 広島地区
13	浅葉克己 Asaba Katsumi	忘れてはならない時刻、815。 A Time Never To Be Forgotten, 815	2009	オフセット印刷・紙	公益社団法人日本グラフィックデザイン協会 広島地区
14	長友啓典 Nagatomo Keisuke	MAD DOG MAD DOG	2010	オフセット印刷・紙	公益社団法人日本グラフィックデザイン協会 広島地区
15	遠藤 享 Endo Susumu	負の閃光 A Flash of Catastrophe	2011	オフセット印刷・紙	公益社団法人日本グラフィックデザイン協会 広島地区
16	奥村毅正 Okumura Yukimasa	HEIWA OHASHI HEIWA OHASHI	2012	オフセット印刷・紙	公益社団法人日本グラフィックデザイン協会 広島地区
17	葛西 薫 Kasai Kaoru	夏の陽のまぶしさ Natsu no Hi no Mabushisa (Glare of the Sun in Summer)	2013	オフセット印刷・紙	公益社団法人日本グラフィックデザイン協会 広島地区
18	井上嗣也 Inoue Tsuguya	記憶 Reminiscence	2014	オフセット印刷・紙	公益社団法人日本グラフィックデザイン協会 広島地区
19	佐藤 卓 Sato Taku	ヒロシマという重石 The Weight of Hiroshima	2015	オフセット印刷・紙	公益社団法人日本グラフィックデザイン協会 広島地区
20	上條喬久 Kamijo Takahisa	祈りの風景 Landscape of Prayer	2016	オフセット印刷・紙	公益社団法人日本グラフィックデザイン協会 広島地区
21	原 研哉 Hara Kenya	HIROSHIMA APPEALS 2017 キノコ図 Hiroshima Appeals 2017 Mushroom Illustration	2017	オフセット印刷・紙	公益社団法人日本グラフィックデザイン協会 広島地区
22	服部一成 Hattori Kazunari	疑問符、2018 Question Mark, 2018	2018	オフセット印刷・紙	公益社団法人日本グラフィックデザイン協会 広島地区
23	渋谷克彦 Shibuya Katsuhiko	希望 Hope	2019	オフセット印刷・紙	公益社団法人日本グラフィックデザイン協会 広島地区
24	渡邊良重 Watanabe Yoshie	いのち Life	2020	オフセット印刷・紙	公益社団法人日本グラフィックデザイン協会 広島地区
25	大貫卓也 Onuki Takuya	HIROSHIMA HIROSHIMA	2021	オフセット印刷・紙	公益社団法人日本グラフィックデザイン協会 広島地区
26	佐藤可士和 Sato Kashiwa	NO NUKES NO WAR NO NUKES NO WAR	2022	オフセット印刷・紙	公益社団法人日本グラフィックデザイン協会 広島地区
27	中村至男 Nakamura Norio	人差し指 Index Finger	2023	オフセット印刷・紙	公益社団法人日本グラフィックデザイン協会 広島地区
28	副田高行 Soeda Takayuki	遺品が訴えるもの The Powerful Message of Left-behind Objects	2024	オフセット印刷・紙	公益社団法人日本グラフィックデザイン協会 広島地区

※No.8～28は展覧会終了後にすべて広島市現代美術館収蔵

西島大介 ショートムービー特集

Screening: Nishijima Daisuke Short Movie Works



会 期 2025年2月11日(火・祝)～4月6日(日)
 会 場 メディアライブラリー
 主 催 広島市現代美術館
 観 覧 料 無料
 担 当 川上真由子
 観 覧 者 数 4,788人

内 容 コレクション展2024-Ⅲ「リレーションズ[ゲストアーティスト:西島大介]」関連企画。ゲストアーティスト西島大介のショートムービー特集を上映した。漫画家であり現代美術作家としても活躍する西島は、「DJまほうつかい」など複数名義で音楽活動を行うほか、「Vtuber Hikaru Minami」として動画配信を行うなど、活動は多岐にわたる。その中でも特に、広島で撮影されたMV「パーブルーム校歌」をはじめとして、「美しい山」、「影の魔王のライセンス」やマンガ作品の解説動画など、マンガ・ボットの関連書籍と共に、「キャラクターの展開図」をより深く理解するものとなった。

旧テレフォブース 展示

Former Telephone Booth Showcase



ガラス張りの飾り棚としてリノベーションされた、かつての公衆電話用のブースを会場に、開催中の事業や美術館に関連したテーマに基づいた、資料等の小さな展覧会を継続的に行なった。

場 所 旧テレフォブース
 観 覧 料 無料
 主 催 広島市現代美術館
 担 当 松岡剛

「模型、置物、マケット」

会 期 2024年3月19日(火)～8月12日(月・休)
 内 容 美術館の建築模型や建物の一部をかたどった置物、野外彫刻のマケットなどの展示。
 観 覧 者 数 13,693人

「変わり果てた物たち」

会 期 2024年8月24日(土)～12月19日(木)
 内 容 経年変化、長期間の使用によりコンディションが維持できなかった品々の展示。
 観 覧 者 数 21,109人

「西島大介おまけ展示」

会 期 2024年12月21日(土)～2025年4月6日(日)
 内 容 コレクション展2024-Ⅲに連動した、西島大介による「ぼうや」を中心としたおまけ展示。
 観 覧 者 数 23,077人

コミュニケーション・プログラム

Communication
Programs

アートナビ・ツアー



アートナビゲーターが開催中の展覧会をツアー形式で解説する。

会場 A展示室、B展示室
参加費 無料 ※要展覧会チケット
開催日 毎週土・日・祝休日
[午前の部]A展示室(コレクション展)11:00~11:30/
B展示室(特別展)11:45~12:15
[午後の部]A展示室(コレクション展)14:00~14:30/
B展示室(特別展)14:45~15:15
※対談やギャラリートーク等のイベント開催時、「いどばた観賞会」開催時を除く
定員 各回10名程度
参加人数 2,403人

対話しながらみる、いどばた観賞会



コレクション展に出品中の作品から2点をとりあげ、印象や気づきを参加者同士で話しながら一緒に作品を鑑賞する。語り合いながらそれぞれの視点で作品を見ることで、解説を聞くときとは異なる作品の見方や作品との関わり方を体験することをねらった。

会場 A展示室
参加費 無料 ※要展覧会チケット
開催日 コレクション展開催中の毎月第一日曜日10:30~11:30
定員 各回6名程度(当日受付、先着順)
開催回数 12回
参加者数 73人

ベビーカーアートナビ・ツアー



小さな子どもと一緒に保護者を対象に実施。作品解説を行うアートナビゲーターとコレクション展をゆったりと巡る。あわせてベビーカールームなどの設備やサービスについても案内することで、ツアー参加後も子どもと一緒に美術館を楽しく利用するきっかけとなることを目指した。

会場 A展示室
参加費 無料 ※要展覧会チケット
開催日 コレクション展開催中の毎週水曜日10:30~11:00
定員 各回3組6名程度(要事前申込、先着順)
対象 ベビーカーや抱っこ紐を使っている1歳半くらいまでの子どもと保護者
開催回数 28回
参加者数 88人

モカモカワークショップ



フランス出身のデザイン・ユニット2m26が制作した「ツールボックス」のなかにある材料と道具を使って、自由にお絵かきや工作を楽しむプログラム。

会 場 広島市現代美術館 多目的スペース「モカモカ」
 参加費 無料 申込不要、順次受付
 開催日 毎週日曜日10:00～16:30、8月12日(月・休)は特別開催
 開催日数 55回
 参加者数 3,692人

もかけん(もっとかわっていくための検討会議)



だれもが安心して美術表現に親しめる場所となるための方法や視点について、研究者やアーティストを交えながら、美術館スタッフと参加者が一緒に学び考える機会をつくる連続プログラム。2024年度は「からだ編」と題して、ワークショップや上映会を開催した。年齢や身体的特徴、受容してきた文化によって、わたしたちの経験や感じ方は異なる。そうしたちがいに目を向けることで、人びとと美術館の間にあるバリアを理解し、一緒に美術館を楽しむための視点を学ぶことだけでなく、他者を想像したり、別の見方で世界を感じることに繋げることをねらった。



1 パフォーマンス・ワークショップ:踊る宝石

それぞれの身体に備わる美しさや創造性に注目し、さまざまな障害のある人を対象にダンスワークショップに取り組むフィリップ・シェエールを講師に迎え、即興的なダンスを行うパフォーマンス・ワークショップを実施した。事前にワークショップを重ねてきた社会福祉法人三矢会太田川学園の人びとや、当日参加の人びとと一緒に、楽器の音やリズムを感じながら歩いたり、ヘアになって踊ったりと、自然体で身体を動かすパフォーマンスを展開した。

日 時 2024年11月23日(土・祝)
 会 場 アプローチプラザ
 参加費 無料
 パフォーマー フィリップ・シェエール、ガエタン・ル・マルシャン、太田川学園メンバー、かりやみほ、川口賢哉
 参加人数 60人
 共 催 社会福祉法人三矢会太田川学園
 協 力 Fondation Franco-Japonaise Sasakawa

2 映画「目の見えない白鳥さん、アートを見にいく」上映会+トーク

自ら各地の美術館の門を叩き、やがて「自由な会話を使ったアート鑑賞」という独自の鑑賞法を編み出した「全盲の美術鑑賞者」である白鳥さんの20年を振り返り、その友人たちや美術館で働く人々、白鳥さんと出会った人びとを追ったドキュメンタリー「目の見えない白鳥さん、アートを見にいく」(配給:ALPS PICTURES INC.)の上映会を開催した。上映後には三好大輔監督を招いてトークを実施し、白鳥さんを撮影して考えたことや、バリアフリー版映画の制作のプロセスについて話を伺った。

上 映 UDCastを利用したバリアフリー音声ガイド対応、日本語字幕付
 アフタートーク 手話通訳付

日 時 2025年3月15日(土)
 会 場 地下1階ミュージアムスタジオ
 参加費 無料
 講 師 三好大輔(映画監督/プロデューサー)
 参加人数 60人

3 映画「目の見えない白鳥さん、アートを見にいく」上映会+座談会

自ら各地の美術館の門を叩き、やがて「自由な会話を使ったアート鑑賞」という独自の鑑賞法を編み出した「全盲の美術鑑賞者」である白鳥さんの20年を振り返り、その友人たちや美術館で働く人びと、白鳥さんと出会った人びとを追ったドキュメンタリー「目の見えない白鳥さん、アートを見にいく」(配給:ALPS PICTURES INC.)の上映会を開催した。上映後には鑑賞者同士で感想を語り合う座談会を実施。映画の感想に加え、バリアフリー上映を体験して得られた気づきや、障害のある人が身近にいる立場から感じたことなどについて意見を交わした。

上 映 UDCastを利用したバリアフリー音声ガイド対応、日本語字幕付

日 時 2025年3月15日(土)
 会 場 地下1階ミュージアムスタジオ
 参加費 無料
 参加人数 33人

パブリシティ

●新聞

「ふみばこ/創作ダンス公演「踊る宝石」」、中国新聞、11月15日、10面
 「思い思い踊る つながる」、読売新聞、11月25日、29面
 「もかけん企画「目の見えない白鳥さん、アートを見に行く」上映会」、中国新聞、3月7日、13面
 「ふみばこ/映画「目の見えない白鳥さん、アートを見に行く」上映会」、中国新聞、3月11日、12面
 「会話を通じて美術を見る」、読売新聞、3月14日、26面、山下佳穂

●定期刊行物(雑誌)

「運動、工作、お料理…大人も楽しい!室内アクティビティ 作ってみたい」、Fun FAN Fun、秋号、88ページ
 「イベントSPOT!」、Fun FAN Fun、春号、58ページ

●定期刊行物(その他)

「Family Event Information」、ママンベール、4/20号、60ページ
 「子どもと美術館」「Family Event Information」、ママンベール、7/5号、8-60ページ
 「Event Guide」、Workin広島版、8/5号、35ページ
 「Family Event Information」、ママンベール、9/5号、60ページ
 「施設のイベント」、ひろしま市民と市政、11/1号、6ページ
 「Family Event Information」、ママンベール、11/5号、60ページ
 「Family Event Information」、ママンベール、2/5号、60ページ
 「施設のイベント」、ひろしま市民と市政、1/1号、6ページ
 「美術館イベント情報」、せとうちアート通信、Vol.11、14ページ

●ラジオ

「週末ナチュラリスト」、RCCラジオ、6月22日、笹野摩耶
 「まるっと日常ワイドえんまん。」、RCCラジオ、8月6日、竹口浩司
 「シネマ☆ボックス」、広島FM、3月8日
 「週末ナチュラリスト」、RCCラジオ、3月15日、三好大輔

その他

Others

「339」POPUP企画



ミュージアムショップ「339」で取り扱う商品に関するPOPUP企画を定期的に開催することで、ショップの周知や宣伝につなげ、販売促進を図る。

場 所 「339」カウンター
観 覧 料 無料
主 催 ミュージアムショップ「339」
担 当 川空ほのか

宮島ろくろと暮らし

会 期 2024年4月28日(日)～7月31日(水)
[前期]「暮らしを彩る宮島ろくろ」4月28日～6月15日
[後期]「食を愉しむ宮島ろくろ」6月16日～7月31日

会 場 「339」カウンター

企 画 木工作家・下村祐介

内 容 ミュージアムショップ「339」で商品を販売している木工作家・下村祐介によるPOPUP展示。作家がこれまでに制作した作品を一同に並べ、宮島ろくろによって生み出される造形、また伝統技術としての宮島ろくろを紹介。前期では現代の生活に合わせたインテリアとしての作品を、後期では昔から作られてきた盆や椀などの、伝統的な面を併せ持つ作品を展示した。

商 品 「一輪挿し」、「木の時計」、「汁椀」他

関連ワークショップ

「ゲンビで体験 宮島ろくろ」

日 程 5月25日(土)、6月8日(土)、6月15日(土)、7月6日(土)、7月20日(土)、7月27日(土)

講 師 木工作家・下村祐介

参加人数 28名

パブリシティ

●新聞

「情報交差点／展示」、中国新聞、4月26日、13面
「おでかけナビ／展示」、中国新聞セレクト、5月2日、8面
「木工作家の技 宮島ろくろ体験」、読売新聞、5月26日、28面

●定期刊行物(雑誌)

「Museum INFORMATION」、クラズム、夏号、8ページ

奥深zine奥深書店

会 期 2024年8月3日(土)～10月31日(木)

会 場 「339」カウンター

企 画 イラストレーター・AKO

内 容 ミュージアムショップ「339」で商品を展開中のイラストレーター・AKOによるPOPUP企画。AKOがセレクトした国内外の様々な作家によるzineを集め、「339」カウンターに展示。zineはAKOと「339」店長による紹介コメントともに閲覧できるように設置し、ショップ内でも実際に購入できるようにした。

商 品 『パフェ座』、『playground』、『共謀』他

関連ワークショップ

「みんなで作る“ゲンビzine(仮)”」

日 程 8月17日(土)、9月14日(土)

講 師 イラストレーター・AKO

参加人数 11名

<p>パブリシティ</p> <hr/> <p>●新聞 「ZINE 奥深い魅力 今注目の30冊を展示・販売」、中国新聞、8月1日、11面、木原由維 「手作り冊子 魅力感じて」、読売新聞、8月2日、20面 ●定期刊行物(雑誌) 「9月のエンタメnavi」、タウン情報ひろしま、9月号、66ページ</p> <p>●定期刊行物(その他) 「「海生交流協定」で交流促進 広島市内でのイベント紹介」、広報えたま、8月号、14ページ 「施設のイベント」、ひろしま市民と市政、8/1号、6ページ</p>	<p>●テレビ 「ビタニュー」、広島ホームテレビ、9月13日</p> <p>●ラジオ 「まるっと日常ワイドえんまん。」、RCCラジオ、8月6日、竹口浩司</p> <p>●WEB 「「339」POPUP企画「奥深zine奥深書店」」、ひろしま公式観光サイト「Dive! Hiroshima」、7月19日 「NEWS」、hiroshima art scene、7月26日</p>
---	---

B-SIDE TRIP HIROSHIMA KIRIKUSHI

会 期	2024年11月8日(金)～2025年2月4日(火)
会 場	「339」カウンター
企 画	デザイナー・鈴木知悠
内 容	ミュージアムショップ「339」で販売している江田島切串を特集したリトルプレス「B-SIDE TRIP HIROSHIMA KIRIKUSHI」のPOPUP企画。『B-SIDE TRIP HIROSHIMA KIRIKUSHI』の制作中に撮影された写真をテキストとともにマップ形式で展示。またプロジェクトの中で行われる調査で集められた、広島の施設やお店、団体によるフリーペーパーや冊子などもライブラリー形式で自由に閲覧できるように設置した。
商 品	『B-SIDE TRIP HIROSHIMA KIRIKUSHI』

<p>関連ワークショップ</p> <p>「比治山を観察して生き物マップをつくろう」</p> <p>日 程 12月14日(土)、2025年1月18日(土)</p> <p>講 師 株式会社荒谷建設コンサルタント 環境調査課</p> <p>参加人数 20名</p>

<p>パブリシティ</p> <hr/> <p>●新聞 「「ゲンビ」周りで生き物を探そう」、中国新聞、12月6日、21面</p> <p>●定期刊行物(雑誌) 「ART」、くれえばん、1月号、104ページ</p>
--

bonpoc神社 ーみんなのmanimaniー

会 期	2025年2月21日(金)～2025年5月23日(金)
会 場	「339」カウンター
企 画	bonpoc代表・安村日菜子
内 容	ミュージアムショップ「339」で販売している「bonpoc」の代表的な商品「ハガイジメストラップ」にまつわるPOPUP企画。「ハガイジメストラップ」のコンセプト“お守りのようなストラップ”をもとに「神社」をテーマにおみくじや絵馬、御朱印など参加型の展示を行った。
商 品	「ハガイジメストラップ」他

<p>関連ワークショップ</p> <p>「manimaniワークショップ」</p> <p>日 程 3月8日(土)、4月12日(土)</p> <p>講 師 bonpoc代表・安村日菜子</p> <p>参加人数 35名</p>

<p>パブリシティ</p> <hr/> <p>●定期刊行物(その他) 「施設のイベント」、ひろしま市民と市政、3/1号、6ページ</p> <p>●テレビ 「ひろしま満点ママ!!」、テレビ新広島、3月11日</p>
--

<p>その他のパブリシティ</p> <hr/> <p>●新聞 「緑地帯 もの声⑦」、中国新聞、5月2日、10面、平野薫 「平和の一翼 ゲンビ35年」、読売新聞、5月7日、21面 「自然と芸術 親子で満喫」、読売新聞、6月9日、29面 「比治山公園 魅力向上へ整備」、中国新聞、6月28日、26面、野平慧一 「平和な世 被爆衣服で訴える」、朝日新聞、7月14日、25面 「キース・ヘリング「幻の壁画」とは」、中国新聞、7月22日、19面 「ぼろぼろの衣服 原爆の悲惨さ訴え」、産経新聞、7月23日、18面 「美術散歩 色鮮やか 不穏な「今」と対峙」、中国新聞、8月14日、11面、西村文 「入野忠芳 代表作「裂罅」への軌跡」、中国新聞、8月24日、11面、木原由維 「ゲンビ入場500万人」、読売新聞、11月4日、27面 「市現美 入場者が500万人」、毎日新聞、11月5日、17面、根本佳奈 「ヒロシマ賞にチンさん」、中国新聞、11月23日、27面、野平慧一 「ヒロシマ賞にメル・チン氏」、朝日新聞、11月23日、29面、魚住あかり 「ヒロシマ賞に米出身芸術家」、毎日新聞、11月28日、23面 「第12回ヒロシマ賞に米国の芸術家メル・チンさん」、長崎新聞、12月4日、13面、小出久 「人が起こす暴力 真摯に反発」、朝日新聞、12月17日、23面、魚住あかり 「中国地方2024回顧」、中国新聞、12月25日、10面、木原由維・仁科裕成 「被爆再現人形に再び光」、読売新聞、3月26日、23面、山下佳穂</p> <p>●定期刊行物 「第3章 EDELWISSの時代」、明和電機の展覧会ができるまで、73-74ページ 「クレピトーつなぎ」、くれえばん、9月号、16-17ページ 「ヒロシマの舞台」、Grandeひろしま、冬号、68-69ページ、宇城昇 「語彙変換するインスタレーション」、美術手帖、1月号、77ページ 「北辻良央」、mysm+Y、Vol.8 「特集:明和電機の展覧会ができるまで」、明和電機ジャーナル、3月号 「令和5年度新館紹介」、博物館研究、5月号、12ページ 「来て見て食べて 広島南部支部」、中国税理士会報、9月号、33ページ 「広島旅のススメ」、d TOUR HIROSHIMA、1ページ 「「ピースパズル」4つのルート」、平和文化月間、11月号 「施設は建築家の制約を受けるのか」、ひろしま市議会だより、12月号、2ページ 「topics／ヒロシマ賞受賞者が決定しました」、ひろしま市民と市政、12/15号、3ページ 「特集「美術ひろしま33」1月下旬発刊!」、to you、1月号、16ページ 「CLOSE UP ひと・仕事／黒田大スケ」、美術ひろしま33、66-69ページ 「話題の展覧会／アルフレド・ジャー展」、美術ひろしま33、58-59ページ 「話題の展覧会／Before/After」、美術ひろしま33、54-55ページ 「話題の展覧会／ケンビとゲンビの作品を並べたら、美術についての疑問が解ける(かも)展」、美術ひろしま33、50-51ページ 「特集 広島市現代美術館リニューアル」、美術ひろしま33、32-38ページ 「WORKS／Oops!!」、美術ひろしま33、23ページ</p>	<p>●テレビ 「ビタニュー」(開館35周年)、広島ホームテレビ、5月2日 「イマナマ!」(開館35周年)、中国放送、5月2日 「ニュース」(来館者500万人)、中国放送、11月4日 「ニュース」(来館者500万人)、広島ホームテレビ、11月4日 「丸ごと!好奇心 知っとる!?(カフェ「KAZE)」、広島テレビ、3月28日</p> <p>●ラジオ 「まるっと日常ワイドえんまん。」(開館35周年)、RCCラジオ、4月30日、竹口浩司</p> <p>●WEB 「ARTICLE」、+5、7月24日、松岡剛、角奈緒子 「広島／秋に行きたいここ／芸術の秋 2023年にリニューアルした広島市にある美術館をご存じだろうか?」、HIROSHIMA Lifestyle magazine インスタグラム、10月28日 「第12回ヒロシマ賞はメル・チン氏に 美術で平和に貢献した作家を顕彰 記念展を2026年夏に広島市現代美術館で開催」、美術展ナビ、11月27日、美術展ナビ編集班 「【岡山・広島・香川・愛媛】巨匠建築家が手掛けた、瀬戸内・四国の美術館15」、ELLE、8月23日 「11月3日は全館無料開放デー!!」、マンハッタンのInstagram、10月31日 「第12回ヒロシマ賞受賞はメル・チン氏に決定。「複雑な社会問題への市民意識を喚起する」」、美術手帖、11月22日 「A world renowned Yancey County artist rushed home after Helene. Now, a community is uniting」、Asheville Citizen Times、12月5日、Will Hofmann 「Hiroshima Art Prize Granted to Socially Engaged Artist」、ArtAsiaPacific、12月23日、Emily Heung 「Mel Chin wins 12th Hiroshima Art Prize」、Art Media Agency、12月23日 「Hiroshima's Legacy: Art, Education, And Voices Of Hibakusha」、THE PINNACLE GAZETTE、12月24日 「Mel Chin Wins Twelfth Hiroshima Art Prize」、ARTFORUM、12月26日 「【広島】建築好きが行くべき、フォトジェニックな名建築20」、ELLE、2月27日</p>
---	--

収集作品目録／図版

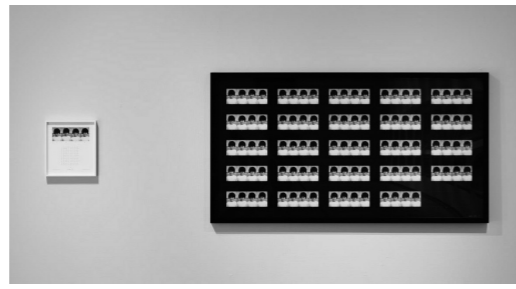
No.	作家名/Artist	作品名/Title	制作年	技法・材質	寸法 (cm)・上映時間	図版番号
[購入作品]						
1	アルフレド・ジャラー Alfred JARR	100のグエン <i>A Hundred Times Nguyen</i>	1994	24の額装されたビグメントプリント 額装されたマトリックスプリント 額装されたコラージュ 書籍、ビデオ	65.5×142×4.5(各) 93×172×4.5 34.4×41.3×3.2 30×20×1.6(各)	図版01
2	モナ・ハトゥム Mona HATOUM	言いたいことがたくさんある <i>So much I want to say</i>	1983	モノクロビデオ、サウンド	4'41"	図版02
3	モナ・ハトゥム Mona HATOUM	距離の尺度 <i>Measure of Distance</i>	1988	カラービデオ、サウンド	15'35"	図版03
4	モナ・ハトゥム Mona HATOUM	ヘア・アンド・ゼア <i>Hair and There</i>	2004	一封のエッチング	48.3×40.6(各)	図版04
5	モナ・ハトゥム Mona HATOUM	無題(茶漉し) <i>Untitled (tea strainer)</i>	2005	フロッター・ジュ・紙引き和紙	27×38	図版05
6	モナ・ハトゥム Mona HATOUM	無題(小さなエジプトの水切り器) <i>Untitled (small Egyptian colander)</i>	2006	フロッター・ジュ・紙引き和紙	30×39	図版06
7	モナ・ハトゥム Mona HATOUM	無題(アルミの水切り器) <i>Untitled (alu colander)</i>	2008	フロッター・ジュ・紙引き和紙	40×54.5	図版07
8	モナ・ハトゥム Mona HATOUM	ノーウェイ(日本のスプーン) <i>No Way (Japanese Spoon)</i>	2011	ステンレススチール	5×25×7	図版08
9	モナ・ハトゥム Mona HATOUM	ノーウェイ IV <i>No Way IV</i>	2013	ステンレススチール	7.7×29×22.3	図版09
10	モナ・ハトゥム Mona HATOUM	無題(陳列ケース台) <i>Untitled (display case table)</i>	2017	ガラス、木	84×80×60	図版10
[寄贈作品]						
1	高橋秀 TAKAHASHI Shu	FRUTTA D'AMORE—argento— (愛の果実—銀—) <i>FRUTTA D'AMORE -argento-</i>	1974	エナメル・キャンバス	134.5×161.7	図版11
2	高橋秀 TAKAHASHI Shu	FRUTTA D'AMORE—oro— (愛の果実—金—) <i>FRUTTA D'AMORE -oro-</i>	1974	エナメル・キャンバス	134.5×161.8	図版12
3	高橋秀 TAKAHASHI Shu	ONDA—colore— (波—色—) <i>ONDA -colore-</i>	1976	エナメル・キャンバス、ビニールクロス	140×299.5	図版13
4	高橋秀 TAKAHASHI Shu	RAN—oro— (ラン—金—) <i>RAN -oro-</i>	1976	アクリル・キャンバス	156×104.3	図版14
5	高橋秀 TAKAHASHI Shu	RAN—rosso— (ラン—赤—) <i>RAN -rosso-</i>	1976	アクリル・キャンバス	156.3×104	図版15
6	池田満寿夫 IKEDA Masuo	ステンドグラス <i>Stained Glass</i>	1980	ドライポイント、アクアチント・紙	40.5×30	図版16
7	池田満寿夫 IKEDA Masuo	黒い太陽 <i>Black Sun</i>	1986	リトグラフ・紙	60.5×50.5	図版17
8	池田満寿夫 IKEDA Masuo	キリン空をゆく <i>Giraffe going across the Sky</i>	1986	リトグラフ・紙	30.6×36.5	図版18
9	池田満寿夫 IKEDA Masuo	光琳の庭 <i>Garden of Korin</i>	1986	リトグラフ・紙	60.5×50.5	図版19
10	池田満寿夫 IKEDA Masuo	マチスの窓 <i>Window of Matisse</i>	1986	リトグラフ・紙	60.5×50.5	図版20
11	池田満寿夫 IKEDA Masuo	天女乱舞 A <i>Dancing in Heaven A</i>	1988	リトグラフ・紙	66×51	図版21
12	池田満寿夫 IKEDA Masuo	マヌカン <i>Mannequin</i>	1988	リトグラフ・紙	66×40	図版22
13	池田満寿夫 IKEDA Masuo	昼 <i>In the Afternoon</i>	1989	リトグラフ・紙	65.2×50.2	図版23
14	池田満寿夫 IKEDA Masuo	マンボ <i>Mambo</i>	1990	リトグラフ・紙	73.3×39.8	図版24
15	池田満寿夫 IKEDA Masuo	海の見える街 <i>Town Viewing Sea</i>	1990	リトグラフ・紙	57.5×78.7	図版25
16	池田満寿夫 IKEDA Masuo	鳥のハート <i>Bird's Heart</i>	1991	リトグラフ・紙	62.3×48.4	図版26
17	池田満寿夫 IKEDA Masuo	カーニバルの女 <i>Carnival Woman</i>	1992	リトグラフ・紙	60.5×47	図版27

No.	作家名/Artist	作品名/Title	制作年	技法・材質	寸法 (cm)・上映時間	図版番号
18	田中敦子 TANAKA Atsuko	1985-7 <i>1985-7</i>	1985	インク、鉛筆・紙	109.3×78.8	図版28
19	石岡瑛子 ISHIOKA Eiko	X像の沈黙 <i>The Silent Message of X</i>	1990	オフセット・紙	103.0×72.8	図版29
20	仲條正義 NAKAJO Masayoshi	Give Peace a Chance <i>Give Peace a Chance</i>	2005	オフセット・紙	103.0×72.8	図版30
21	佐藤晃一 SATO Koichi	黄金の蝶 <i>Golden Butterfly</i>	2006	オフセット・紙	103.0×72.8	図版31
22	松永 真 MATSUNAGA Shin	NO MORE HIROSHIMA! <i>NO MORE HIROSHIMA!</i>	2007	オフセット・紙	103.0×72.8	図版32
23	青葉益輝 AOBA Masuteru	市民参加のスタンプポスター <i>Citizen's Peace Stamp Poster</i>	2008	オフセット・紙	103.0×72.8	図版33
24	浅葉克己 ASABA Katsumi	忘れてはならない時刻、815。 <i>A Time Never To Be Forgotten, 815</i>	2009	オフセット・紙	103.0×72.8	図版34
25	長友啓典 NAGATOMO Keisuke	MAD DOG <i>MAD DOG</i>	2010	オフセット・紙	103.0×72.8	図版35
26	遠藤 亨 ENDO Susumu	負の閃光 <i>A Flash of Catastrophe</i>	2011	オフセット・紙	103.0×72.8	図版36
27	奥村毅正 OKUMURA Yukimasa	HEIWA OHASHI <i>HEIWA OHASHI</i>	2012	オフセット・紙	103.0×72.8	図版37
28	葛西 薫 KASAI Kaoru	夏の陽のまぶしさ <i>Natsu no Hi no Mabushisa (Glare of the Sun in Summer)</i>	2013	オフセット・紙	103.0×72.8	図版38
29	井上嗣也 INOUE Tsuguya	記憶 <i>Reminiscence</i>	2014	オフセット・紙	103.0×72.8	図版39
30	佐藤 卓 SATO Taku	ヒロシマという重石 <i>The Weight of Hiroshima</i>	2015	オフセット・紙	103.0×72.8	図版40
31	上條喬久 KAMIJO Takahisa	祈りの風景 <i>Landscape of Prayer</i>	2016	オフセット・紙	103.0×72.8	図版41
32	原 研哉 HARA Kenya	HIROSHIMA APPEALS 2017 キノコ図 <i>Hiroshima Appeals 2017 Mushroom Illustration</i>	2017	オフセット・紙	103.0×72.8	図版42
33	服部一成 HATTORI Kazunari	疑問符、2018 <i>Question Mark, 2018</i>	2018	オフセット・紙	103.0×72.8	図版43
34	渋谷克彦 SHIBUYA Katsuhiko	希望 <i>Hope</i>	2019	オフセット・紙	103.0×72.8	図版44
35	渡邊良重 WATANABE Yoshie	いのち <i>Life</i>	2020	オフセット・紙	103.0×72.8	図版45
36	大貫卓也 ONUKI Takuya	HIROSHIMA <i>HIROSHIMA</i>	2021	オフセット・紙	103.0×72.8	図版46
37	佐藤可士和 SATO Kashiwa	NO NUKES NO WAR <i>NO NUKES NO WAR</i>	2022	オフセット・紙	103.0×72.8	図版47
38	中村至男 NAKAMURA Norio	人差し指 <i>Index Finger</i>	2023	オフセット・紙	103.0×72.8	図版48
39	副田高行 SOEDA Takayuki	遺品が訴えるもの <i>The Powerful Message of Left-behind Objects</i>	2024	オフセット・紙	103.0×72.8	図版49
40	田村友一郎 TAMURA Yuichiro	ずるい彼 <i>His Serpentine</i>	2019/ 2023	ミクストメディア	サイズ可変	図版50
41	田村友一郎 TAMURA Yuichiro	ガラスの花嫁 <i>The Glass Bride</i>	2023	ミクストメディア	サイズ可変	図版51
42	竹村京 TAKEMURA Kei	修復されたH.MoCAのマイク <i>Renovated: H.MoCA's Microphone</i>	2023	H.MoCAのマイク、合成繊維、群馬産蛍光シルク	5.7×19.4×5.7	図版52
43	竹村京 TAKEMURA Kei	修復されたH.MoCAのスライド映写機 <i>Renovated: H.MoCA's Slide Projector</i>	2023	H.MoCAのスライド映写機、合成繊維、群馬産蛍光シルク	18.4×60×35	図版53
44	手嶋勇気 TEJIMA Yuki	AID #60 <i>AID #60</i>	2022	アクリル・キャンバス	250×700	図版54

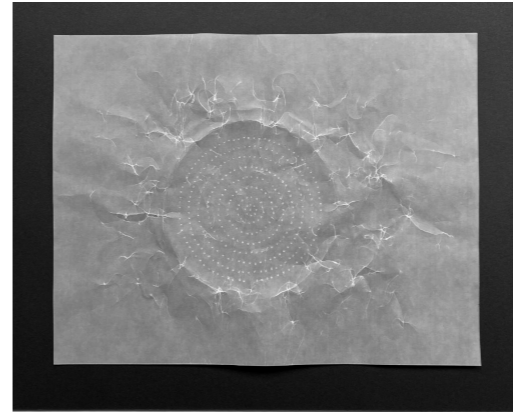
図版01-1 | 100のグエン



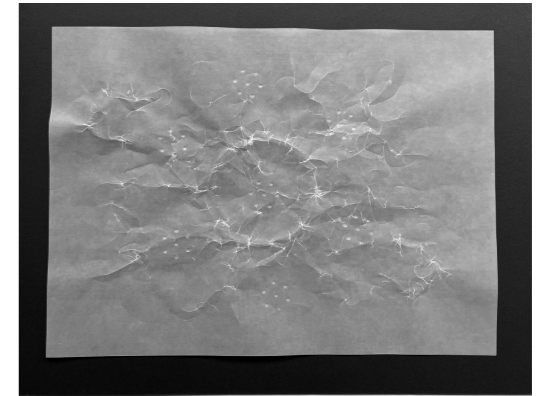
図版01-2 | 100のグエン



図版06 | 無題(小さなエジプトの水切り器)



図版07 | 無題(アルミの水切り器)



図版02 | 言いたいことがたくさんある



図版03 | 距離の尺度



図版08 | ノーウェイ(日本のスプーン)



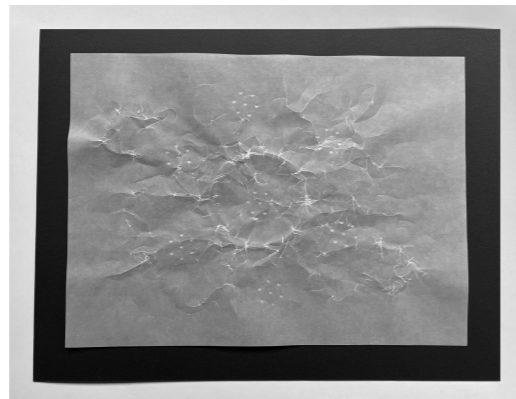
図版09 | ノーウェイⅣ



図版04 | ヘア・アンド・セア



図版05 | 無題(茶漉し)



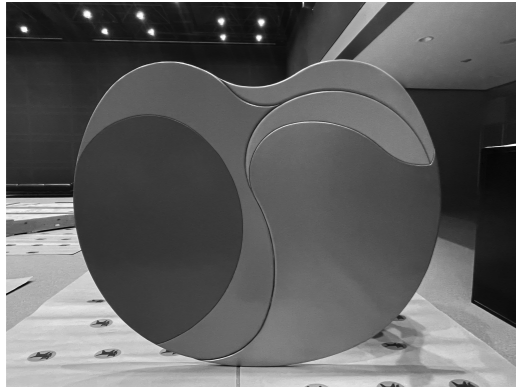
図版10 | 無題(陳列ケース台)



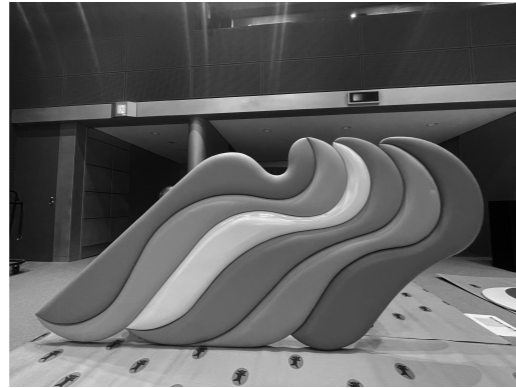
図版11 | FRUTTA D'AMORE—argento—(愛の果実—銀—)



図版12 | FRUTTA D'AMORE-oro- (愛の果実-金-)



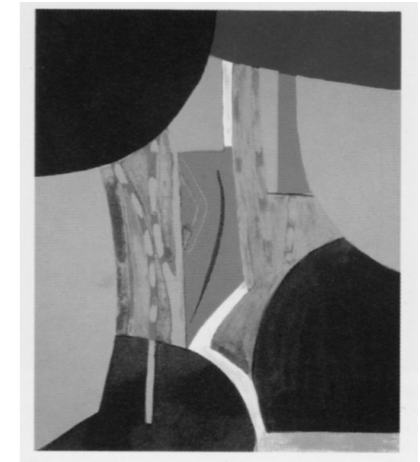
図版13 | ONDA-colore- (波-色-)



図版18 | キリン空をゆく



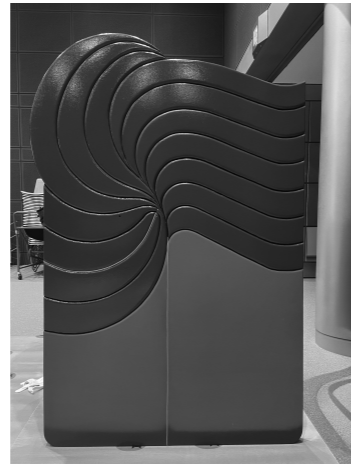
図版19 | 光琳の庭



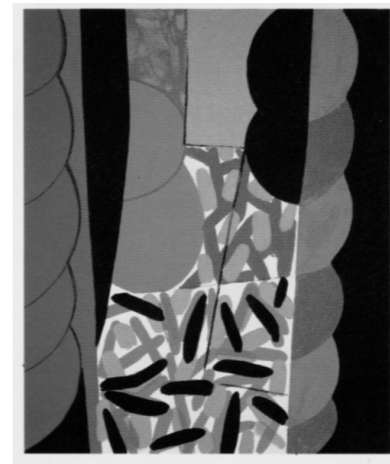
図版14 | RAN-oro- (ラン-金-)



図版15 | RAN-rosso- (ラン-赤-)



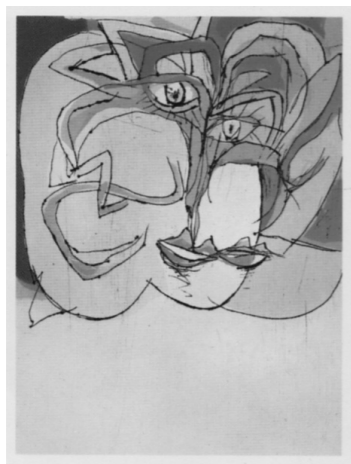
図版20 | マチスの窓



図版21 | 天女乱舞 A



図版16 | スタンドグラス



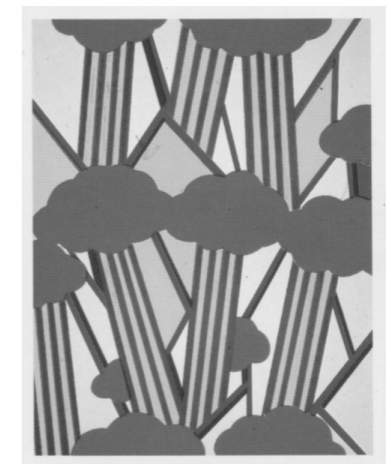
図版17 | 黒い太陽



図版22 | マヌカン



図版23 | 昼



図版24 | マンボ



図版25 | 海に見える街



図版30 | Give Peace a Chance



図版31 | 黄金の蝶



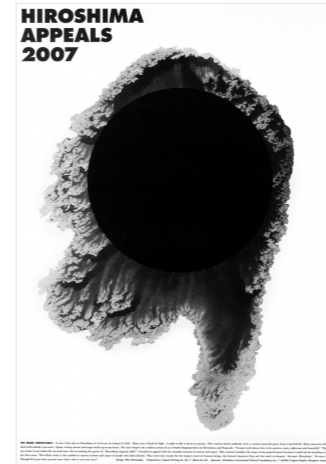
図版26 | 鳥のハート



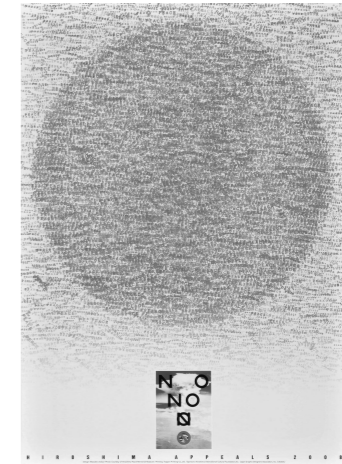
図版27 | カーニバルの女



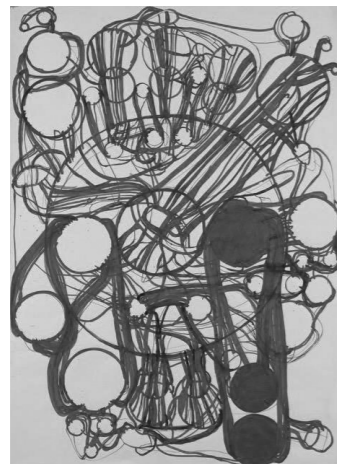
図版32 | NO MORE HIROSHIMA!



図版33 | 市民参加のスタンプポスター



図版28 | 1985-7



図版29 | X像の沈黙



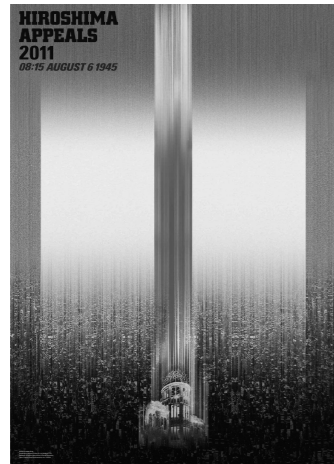
図版34 | 忘れてはならない時刻.815.



図版35 | MAD DOG



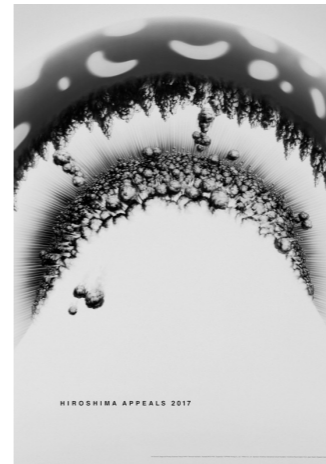
図版36 | 負の閃光



図版37 | HEIWA OHASHI



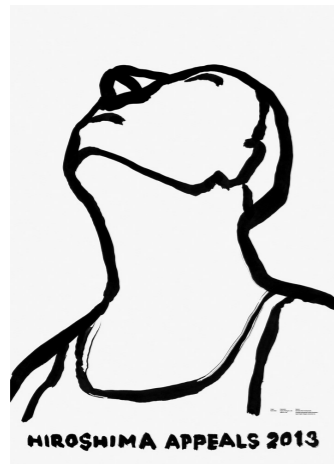
図版42 | HIROSHIMA APPEALS 2017 キノコ図



図版43 | 疑問符, 2018



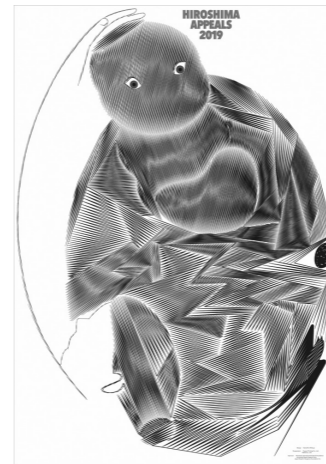
図版38 | 夏の陽のまぶしさ



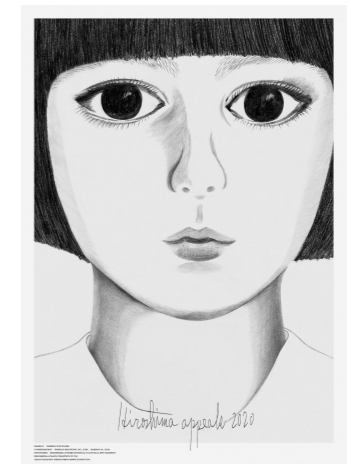
図版39 | 記憶



図版44 | 希望



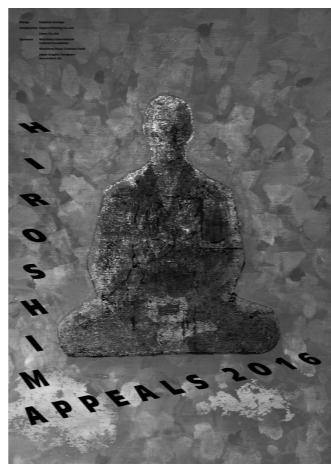
図版45 | いのち



図版40 | ヒロシマという重石



図版41 | 祈りの風景



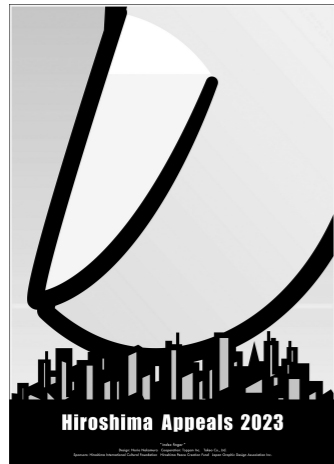
図版46 | HIROSHIMA



図版47 | NO NUKES NO WAR



図版48 | 人差し指



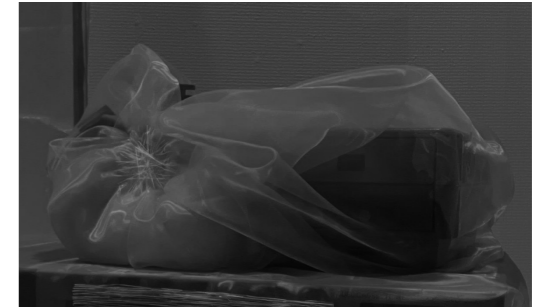
図版49 | 遺品が訴えるもの



図版52 | 修復されたH.MoCAのマイク



図版53 | 修復されたH.MoCAのスライド映写機



図版50-1 | ずるい彼



図版50-2 | ずるい彼



図版54 | AID #60



図版51-1 | ガラスの花嫁



図版51-2 | ガラスの花嫁



貸出記録

貸出目録

No. 作家	作品	展覧会名	貸出先(会場)	展示期間	貸出期間	備考	
1 山路商	デッサン	第3期 コレクションフォーカス山路商-前期広島の前衛精神 伝統と革新-児玉希望展にちなんで	広島県立美術館	2024年10月11日～2024年12月24日	2024年10月3日～2025年1月21日		
	広島風景						
	自画像						
	冬						
	鏝光						
	静物(魚の頭)						
	蝶						
	静物(柿のある)						
2 草間彌生	とらわれのダニー・ラルー	Yayoi Kusama	The National Gallery of Victoria	2024年12月15日～2025年4月21日	2024年11月9日～2025年5月21日		
	よみがえる魂						
	自殺の儀式						
3 アンディ・ウォーホル	キャンベルスープII(10点組)	アート・オブ・ザ・リアル 時代を超える美術-若冲からウォーホル・リビターへ	鳥取県立美術館	2025年3月30日～2025年6月15日	2025年3月12日～2025年7月9日	【(キャンベルスープII)展示期間】 前期(3/30～4/20 20日間):1～10 中期(4/22～5/18 26日間):1,3,5,7,9 後期(5/20～6/15 24日間):2,4,6,8,10	
	チャック・クロース						
	イヴ・クライン						人体測定170
	ドナルド・ジャッド						無題

博物館実習

期 間 2024年8月27日(火)～31日(土)

実習人数 4名

受入大学 秋田公立美術大学、尾道市立大学、広島市立大学

内容 広島市の公立博物館施設として、広島市在住及び出身、広島県下の大学の学生、または当館での実習希望者に、博物館法第5条第1項に定める学芸員資格を得るのに必要な科目を修得させるため、5日間にわたり、美術館における学芸業務などについて講義と実習を行った。

カリキュラム

実習日	時間	内容
8月27日	10:00～10:50	オリエンテーション、自己紹介
	11:00～12:00	施設見学(バックヤード、特別展動線確認)
	13:00～13:50	博物館実習の心構えと現代美術館について
	14:00～15:00	学芸員の職務について
	15:10～16:00	展示見学(コレクション展)
	16:10～17:00	日誌作成
8月28日	10:00～12:00	コレクションの収集・管理・展示について
	13:00～14:50	作品調書作成
	15:00～16:00	アーカイブについて
	16:10～17:00	日誌作成
8月29日	10:00～12:00	広報活動について
	13:00～14:30	教育普及について①
	14:40～16:00	教育普及について②
	16:10～17:00	日誌作成
8月30日	10:00～12:00	展覧会の企画・展示について
	13:00～16:00	グループワーク(企画案作成)
	16:10～17:00	日誌作成
8月31日	10:00～12:00	グループワーク(プレゼン準備)
	13:00～15:50	企画案発表・討議
	16:00～17:00	まとめ・日誌作成

美術館利用促進事業

受 入 期 間 2024年7月1日(月)～2025年3月31日(月)

対 象 広島市内に住所を有する小・中学校及び特別支援学校(小学部・中学部)

バス運行台数 9台

目 的 小・中学生を対象に送迎バス運行による鑑賞事業を実施することで、子どもたちに優れた美術作品の鑑賞機会を提供し、情操教育の向上に寄与するとともに現代美術ファン層の裾野を広げ、さらなる利用促進を図る。*学校の一部負担あり

参加校数/受入数

区 分	広島市内		計	
	市 立	国立・私立		
小学校	学校数	9校	0校	9校
	人 数	625人	0人	625人
中学校	学校数	0校	0校	0校
	人 数	0人	0人	0人
計				9校
				625人

(参考)小・中学校の団体利用実績総数

区 分	広島市内			広島市外	計	
	市 立	国立・私立				
小学校	学校数	16校	15校	1校	5校	21校
	人 数	1,681人	1,553人	128人	84人	1,765人
中学校	学校数	8校	6校	2校	3校	11校
	人 数	186人	112人	74人	43人	229人
計					8校	32校
					127人	1,994人

※人数は実数(児童・生徒・引率教師)

職員名簿

広島市現代美術館職員名簿 2024(令和6)年度

館 長	寺口 淳治	
副館長	野中 明	
総務担当課長	小林 礼幸	
主幹(事)主任	伊藤 悦子	
主 査	三浦 芳裕	
主 査	崎村 祐美子	
事務推進員	鈴木 末那	2024年9月～
学芸担当課長	竹口 浩司	
主幹学芸員(事)主任	洲濱 元子	
主任学芸員	松岡 剛	
学芸員	角 奈緒子	
学芸員	笹野 摩耶	
学芸員	清水 和音	
学芸員	川上 真由子	
主事[広報・PR担当]	國廣 詞恵	
広報・普及推進員	立花 利恵	
広報・普及推進員	川空 ほのか	

2024 (R6) 年度
広島市現代美術館年報

令和8年3月発行
発行 広島市現代美術館
印刷 株式会社 中本本店